大阪公立大学大学院
現代システム科学研究科
博士前期課程学生募集要項

2027年度春入学

一　般　選　抜
社会人特別選抜
外国人留学生特別選抜

入学者選抜について対応を変更する等がある場合は、以下の
Web サイトで公表しますので、随時ご確認ください。

○大阪公立大学入試情報サイト
https://www.omu.ac.jp/admissions/g/

2026年4月
大阪公立大学

目　　次

アドミッション・ポリシー …… 1

Ⅰ　一　般　選　抜 …… 3

Ⅱ　社会人特別選抜 …… 14

Ⅲ　外国人留学生特別選抜 …… 24

Ⅳ　全選抜共通事項 …… 37

博士前期課程の概要 …… 41

博士前期課程の教員メールアドレス一覧 …… 47

＜ 出　願　書　類 ＞

・入 学 願 書（一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜）
・履　歴　書（一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜）
・写　真　票（全選抜共通）
・研究計画書（全選抜共通）

＜出願資格審査用書類＞

・出願資格審査申請書（全選抜共通）

現代システム科学研究科　アドミッション・ポリシー

科学技術の発達、生産・流通・情報通信のグローバル化、都市化の進展、地域社会の変容といった現代世界に特徴的な動きは、恩恵や利便をもたらす一方で、軋轢や格差の増幅、自然環境の変動による危機も生み出しながら進み、人間の生活を大きく変えつつある。

大規模で根源的な変化のなかで、従来からあった社会的対立や不条理があらわになり、新しく生じた矛盾も加わって、これまでの知識と価値観では理解も対応も困難な問題群を私たちは抱えることになった。社会的公正の実現が難しくなり、個人は未知の不安や恐怖を経験している。

諸科学によるこれまでの知的な積み上げをどう活かすか、どう変えていくかが問われてもいる。人類的規模で経験する変化の時代における喫緊の課題は、変化の意味と矛盾を見極め、グローバルな視点に立って問題群に対応し、持続可能な社会の実現に貢献しうる、力ある闊達な知の創成であるのはまちがいなく、それは地域社会の活性化にも繋がるはずである。

そのような知を創成するためには、人間、社会、自然、科学技術の諸相について、現象を多様な要素の相互作用からなるシステムとして捉える視座から過去の検証と現在の分析を重ね、未来を展望することが求められる。

現代システム科学研究科は、こうした課題に積極的に向き合い、諸科学の深化・発展に寄与し、持続可能な社会の実現に貢献する意欲的な知性の養成を責務とする。

こうした観点から、以下のような能力と姿勢を持つ学生を歓迎する。

1. 基礎的な研究能力を備え、異なる領域の研究成果への関心と理解力、および具体的な問題への応用力を有していること
2. 論理的思考力を備え、公正で多角的な視点に立つ探究心を有していること
3. 最新の知見から学ぶ意欲と向上心を持ち、持続可能な社会の実現と次世代への知的継承に積極的な姿勢を有していること

本研究科では、地域と世界に開かれた学府として積極的に知の交流を行い、上記の責務を果たすことに全力で取り組む。

現代システム科学専攻　アドミッション・ポリシー

本専攻博士前期課程では、自らの専門領域における高度な研究を遂行する能力と、他領域の研究を理解し協働する力を兼ね備え、実社会における問題に適切かつ効果的な解決策を提供することで持続可能な社会の実現に貢献する人材を育成する。したがって、本専攻博士前期課程では次のような学生を求める。

1. 環境共生科学、人間科学、社会福祉学、臨床心理学、認知行動科学のいずれかにおける基礎的な研究能力を備え、異なる領域の研究成果への関心と理解力、および具体的な問題への応用力を有している人
2. 論理的思考力を備え、公正で多角的な視点に立つ探究心を有している人
3. 最新の知見から学ぶ意欲と向上心をもち、持続可能な社会の実現に積極的な姿勢を有している人

以上に基づき、本専攻博士前期課程にふさわしい学生を迎えるため、次の1～5の能力や適性を身に付けた学生を選抜する。

1. 学士課程において幅広い科目を履修し、高い学力を有していること
2. 環境共生科学、人間科学、社会福祉学、臨床心理学、認知行動科学のいずれかにおける専門的知識と基礎的な方法論を身に付けていること
3. 当該領域における文献読解の能力を備えていること
4. 研究に必要な論理的思考力および分析力を有していること
5. 研究に強い意欲を持ち、持続可能な社会の実現に積極的な姿勢を有していること

Ⅰ　一般選抜学生募集要項

〔1〕募集人員

入学者の選考は第１次募集と第２次募集を実施し、別個に出願を受け付けます。
なお、第１次募集と第２次募集の合計募集人員は次の通りです。

専攻	分野	募集人員	
		第１次募集	第２次募集
現代システム科学専攻	環境共生科学分野	40 名	
	人間科学分野		
	社会福祉学分野		
	臨床心理学分野		
	認知行動科学分野		

※第２次募集は、第１次募集の結果にかかわらず実施します。

〔2〕出願資格

次の各号のいずれかに該当する者。

(1)　我が国の大学を卒業した者及び 2027 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者

(2)　独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び 2027 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

(3)　外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

(4)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

(5)　我が国において、外国の大学の課程 (*1) を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

*1　その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。

(6)　外国の大学その他の外国の学校 (*2) において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること (*3) により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

*2　その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。

*3　当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。

(7)　専修学校の専門課程 (*4) で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

*4　修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。

(8)　文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）

(9)　次のいずれかに該当する者で、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（いわゆる飛び級）

a.　我が国の大学に 3 年以上在学した者及び 2027 年 3 月 31 日までに大学に 3 年以上在学する見込みの者

b.　外国において、学校教育における 15 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

c.　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

d.　我が国において、外国の大学の課程 (*5) を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育

施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2027年3月31日までに修了見込みの者

*5　その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。

(10)　本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに22歳に達する者

(11)　本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

【 注意事項 】

上記(9)(10)(11)による志願者は、出願資格審査が必要です。〔3〕出願資格審査を参照してください。

なお、出願資格(9) aの「所定の単位」とは、3年次終了時点で4年次開講の必修科目（卒業研究を含む）を除く卒業に必要な単位です。

〔3〕出願資格審査

出願資格(9)(10)(11)による志願者は、出願前に次の書類を提出してください。**ただし、環境共生科学分野、人間科学分野、社会福祉学分野、認知行動科学分野を希望する場合は、書類を提出する前に必ず指導を希望する教員と相談すること（P.47参照）。また、臨床心理学分野を希望する場合で、かつ長期履修（P.38）を希望する場合は、書類を提出する前に必ず指導を希望する教員と相談すること（P.47参照）。**

なお、提出書類に不備がある場合は審査を行えないことがあります。不明な点がある場合には事前に問い合わせてください。

出願資格(1)～(8)による志願者は、出願資格審査は不要です。

〈1〉提出書類等

本研究科所定の様式は、本学Webサイトからダウンロードしてください。

○ 出願資格(9) aによる志願者

1．出願資格審査申請書（本研究科所定の様式を使用してください。）
2．在学証明書（在学期間を証明するもので、出身大学長・学部長等が発行したもの。）
3．2年次までの成績証明書（出身大学において履修した科目の単位数および成績評価を記入したもの。）
4．他大学等の在学者にあっては、シラバス・履修要項等、大学等が発行している授業内容の分かる資料。

○ 出願資格(9) b、c、dによる志願者

1．出願資格審査申請書（本研究科所定の様式を使用してください。）
2．修了証明書又は在学証明書（在学期間を証明するもので、出身大学長・学部長等が発行したもの。）
3．成績証明書（出身大学において履修した科目の単位数および成績評価を記入したもの。）
4．シラバス・履修要項等、出身大学等が発行している授業内容の分かる資料。
5．学習成果報告書（日本語の場合2,000字程度、英語の場合800語程度）
書式は問いませんが、A4用紙を使用してください。出願の根拠となる教育課程における学習について記述してください。その後、学習を継続している場合には、その後の学習成果についても記述してください。

○ 出願資格(10)(11)による志願者

1．出願資格審査申請書（本研究科所定の様式を使用してください。）
2．学習成果報告書（日本語の場合2,000字程度、英語の場合800語程度）
書式は問いませんが、A4用紙を使用してください。出願の根拠となる教育課程における学習について記述してください。その後、学習を継続している場合には、その後の学習成果についても記述してください。

【 注意事項 】

・各証明書については、複写したものでは受付できません。

・**提出書類が日本語又は英語以外の場合は、必ず日本語訳又は英語訳を添付してください。**

・本研究科から追加書類等の提出を求められた者は、速やかにその指示に従ってください。
・出願資格(9)により本研究科に志願する者は、出願資格審査（１次審査）を経たうえで、出願しなければなりません。入学試験に合格した者を仮合格者とし、年度末に最終審査である入学資格審査（２次審査）を経て合格者が決定されます。入学試験仮合格通知を受けた者のうち、２次審査を受けようとする者は 2027 年 3 月 1 日（月）16 時までに次の書類を入試課（現代システム科学研究科担当）に提出しなければなりません。

１．入学試験仮合格通知書
２．3 年次修了までの成績証明書（出身大学長・学部長等が発行したもの。）

〈2〉受付期間等

受付期間	送付先（問合せ先）
【第１次募集】 2026 年 6 月 8 日（月）～6 月 10 日（水）<u>必着</u>	〒599 - 8531 大阪府堺市中区学園町１番１号 大阪公立大学　入試課（中百舌鳥キャンパス） Tel：072 - 254 - 8319 （注）封筒の表に「現代システム科学研究科 出願資格審査書類在中」と朱書きしてください。
【第２次募集】 2026 年 11 月 4 日（水）～11 月 6 日（金）<u>必着</u>	
(注)簡易書留･受付期間内必着で郵送してください。	

上記受付期間内の 10 時～17 時の時間に限り、中百舌鳥キャンパスの A3 棟 3 階入試課に直接提出することができます。
<u>直接提出する場合でも、封筒を使用し、封をして提出してください。</u>

・分野によっては必要に応じて簡略な試験等を行うことがあります。
・審査結果は、出願期間前に志願者に通知され、出願資格認定者には「出願資格認定書」が送付されます。
・第１次募集の出願資格審査で出願資格が認められた者については、同じ分野に出願する場合のみ第２次募集の出願資格審査を免除とします。

〔4〕出願手続

〈1〉指導を希望する教員への申し出について
志願者のうち、<u>環境共生科学分野、人間科学分野、社会福祉学分野、認知行動科学分野に出願する場合は、出願手続前に必ず指導を希望する教員と相談すること（P.47 参照）。また、臨床心理学分野に出願する場合で、かつ長期履修（P.38）を希望する場合は、出願手続前に必ず指導を希望する教員と相談すること（P.47 参照）。</u>

〈2〉出願期間
出願手続はインターネット出願登録及び出願書類の提出により行います。
※日本国外（海外）から出願する者は、【第１次募集】2026 年 6 月 26 日（金）、【第２次募集】2026 年 12 月 1 日（火）までに、志望分野及び氏名を入試課（gr-nyu-sss@omu.ac.jp）へメールで連絡してください。

項目	期間	
インターネット出願登録期間	【第１次募集】	2026 年 6 月 26 日（金）10 時～7 月 8 日（水）17 時
	【第２次募集】	2026 年 12 月 1 日（火）10 時～12 月 9 日（水）17 時
出願に必要な書類提出期間	【第１次募集】	2026 年 7 月 6 日（月）～7 月 8 日（水）消印有効（注） 簡易書留で郵送してください。
	【第２次募集】	2026 年 12 月 7 日（月）～12 月 9 日（水）消印有効（注） 簡易書留で郵送してください。

（注）海外から送付する場合は、日本国内に到着した日が出願書類提出期間最終日までであれば有効とします。<u>必ず追跡ができる方法で送付してください。</u>

上記書類提出期間内の10時～17時の時間に限り、中百舌鳥キャンパスのA3棟3階入試課に直接提出することができます。
直接提出する場合でも、封筒を使用し、封をして提出してください。

〈3〉出願方法
次のstep 1～step 6の手順で出願を行ってください。

step 1	●事前準備	
	パソコン等の動作環境	・インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。
	印刷環境	・郵送が必要な書類をA4用紙で印刷します。
	メール設定	・出願登録時にお知らせメールを送信します。メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。@sak-sak.net及び@omu.ac.jpを受信可能なドメインとして設定してください。
	出願に必要な書類	・P.7〔4〕出願手続〈5〉出願書類等を参照の上、書類提出期間内に間に合うようあらかじめご用意ください。
	封筒	・出願書類は、必ず「宛名ラベル」を貼り付けた市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）に封入してください。「宛名ラベル」は、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから出力できます。

▼

step 2	●ポータルサイトにアクセス ・出願登録開始日時以降に本学Webサイトからポータルサイトへアクセスし、ユーザーID、パスワードを登録の上、インターネット出願登録を進めてください。 ※ポータルサイトのユーザーIDとしてメールアドレスが必要です。個人別成績の情報提供時（2026年11月又は2027年5月）まで使用できるメールアドレスを登録してください。 本学Webサイト URL https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/inet-apply/

▼

step 3	●出願登録 ・ポータルサイト内からインターネット出願サイトへ入り、「出願手順」、「Q&A」を必ず確認の上、出願登録を行ってください。 ・出願登録完了後に登録内容の変更はできませんので、必ず最終確認画面で登録した内容を十分確認してください。

▼

step 4	●入学検定料等の支払い			
	・インターネット出願サイトの指示に従って、次の（1）～（4）のいずれかの方法で、入学検定料（30,000円）をお支払いください。（P.6〔4〕出願手続〈4〉入学検定料等の支払方法　参照） ・入学検定料の他に、支払手数料（990円）が必要となります。			
	（1）	（2）	（3）	（4）
	クレジットカード	コンビニエンスストア	ATM（ペイジー）	インターネットバンキング

▼

step 5	●出願確認票及び宛名ラベルの印刷 ・再度インターネット出願サイトにアクセスし、A4用紙に片面で印刷してください。 ・**インターネット出願登録期間内に必ず印刷を完了してください。**

▼

step 6	●出願書類の郵送、提出 ・出願書類を簡易書留により郵送（消印有効）してください。（P.7〔4〕出願手続〈5〉出願書類等　参照） ・直接提出する場合は、書類提出期間、時間にご注意ください。 ・書類提出期間内に出願書類の提出がなければ、出願を受理しません。（P.5〔4〕出願手続〈2〉出願期間参照）

〈4〉入学検定料等の支払方法
出願登録の際に必要な料金は以下のとおりです。
・入学検定料　30,000円
・支払手数料　990円

支払方法は、次の 4 種類が利用可能です。詳しい支払方法については、出願登録をする際に、インターネット出願サイト内の「お支払い方法選択」で選択した支払方法の画面で確認してください。

支払方法	取扱機関等
(1) クレジットカード	VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club （注）支払方法は、一括払いのみです。
(2) コンビニエンスストア	セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、セイコーマート （注）支払方法は、現金のみです。
(3) ATM（ペイジー）	Pay-easy マークの付いている金融機関の ATM で支払うことができます。 コンビニ窓口・コンビニの共有 ATM では使えません。
(4) インターネットバンキング	主要メガバンクをはじめ、Pay-easy 対応の全国 1,000 行以上のインターネットバンキングをご利用いただけます。 ※ご利用には、インターネットバンキングの利用契約が必要です。

〈5〉出願書類等

P.5〔4〕出願手続〈1〉指導を希望する教員への申し出について　を参照し、事前相談が必要な志願者は相談を済ませた後に出願登録を行ってください。入学検定料等の支払い後、次の書類を**全てそろえて書類提出期間内に提出**してください。
※P.4〔3〕出願資格審査を受けた者は、出願資格審査申請時と重複している書類を省略することができます。

・本学所定の様式は、本学 Web サイトからダウンロードしてください。『出願確認票』及び『宛名ラベル』は、**入学検定料等の支払い完了後にインターネット出願サイトから印刷可能**となります。
・出願書類は、**必ず下記『宛名ラベル』を貼り付けた市販の角形２号封筒（24cm×33.2cm）に封入**してください。

	出願書類等	作成方法等
1	出願確認票（大学提出用）	・インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A4 用紙に印刷してください。
2	宛名ラベル	・インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A4 用紙に印刷の上、市販の角形２号封筒（24cm×33.2cm）に貼り付けてください。
3	入学願書	・本研究科所定の様式を使用してください。 ・3 ヶ月以内に撮影した無補正の写真（4cm×3cm）を貼り付けてください。
4	履歴書	・本研究科所定の様式を使用してください。
5	写真票	・本研究科所定の様式を使用してください。 ・必要事項を記入し、3 ヶ月以内に撮影した無補正の写真（4cm×3cm）を貼り付けてください。
6	研究計画書	・本研究科所定の様式を使用してください。 ・志望する分野に関する学修・研究経過、入学後の研究課題、その研究方法を記述してください。
7	卒業（修了）証明書又は同見込証明書 （出願資格を証明する書類）	・出身大学の学長又は学部長等が発行したもの。 ・出願資格（2）に該当する者は、学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書。 ・外国の大学その他の外国の学校を修了又は修了見込みの者は学位取得（見込み）が明記されているもの。出身学校において卒業証明書と学位取得証明書が分かれている場合は、その両方（原本）を提出してください。
8	成績証明書	・出身大学長・学部長等が発行したもの。 ・高等専門学校出身者は本科・専攻科両方の成績証明書を提出してください。 ・編入学で入学した場合は、編入学する以前に在籍していた学校の成績証明書も併せて提出してください。

<table>
<tr><td>9</td><td>TOEIC 又は
TOEFL の
スコア証明書</td><td>環境共生科学分野
認知行動科学分野</td><td>・2025 年 4 月以降に実施された外部試験成績。有効なスコア証明書は次の通り。
<table><tr><td>1</td><td>TOEIC Listening&Reading 公開テスト（TOEIC-IP は不可）</td></tr><tr><td></td><td>TOEIC Listening&Reading Official Score Certificate（公式認定証）</td></tr><tr><td></td><td>【日本国内で受験した者】
TOEIC 申込サイトよりダウンロードした PDF の Digital Official Score Certificate（デジタル公式認定証）を A4 用紙に印刷したもの。
※QR コードから完全性、真正性の確認ができないものは不可。

【日本国外で受験した者】
志願者あてに送付された紙媒体の Official Score Certificate（公式認定証）の原本。コピーや Web 上からダウンロードされたスコア証明書及び ETS から直接本学へ送付されたスコア証明書は不可。</td></tr><tr><td>2</td><td>TOEFL iBT 会場受験（自宅受験は不可）</td></tr><tr><td></td><td>TOEFL iBT の Test Taker Score Report</td></tr><tr><td></td><td>ETS アカウント内よりダウンロードした PDF の Test Taker Score Report を A4 用紙に印刷したもの。
※本研究科で真正性の確認を行います。
※Test Date Score のうち 0-120 スコアのみを出願スコアとして活用します。
Test Date Score のうち 1-6 スコア（バンドスコア方式）及び MyBest®スコアは活用しません。</td></tr></table>・<u>提出されたスコア証明書は返却しません。</u>
・出願時にスコア証明書を提出できない場合は、提出できない理由を記載した理由書（様式随意）を出願書類とともに提出してください。
・出願時にスコア証明書を提出した場合であっても、試験当日により良い成績の最新スコア証明書がある場合、再提出を認めます。
・出願時にスコア証明書を未提出又は、より良い成績のスコア証明書を再提出する場合、入学試験当日（初日）の 1 時間目開始前に、スコア証明書を監督者へ提出してください。
・スコア証明書を提出できない場合であっても受験することは出来ますが、外部試験結果による成績評価は、0 点となります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">10</td><td rowspan="2">※第 2 次募集
志願者のみ

志望する分野に
関連する卒業論文
（提出予定のもの
を含む）又は
これに代わる論文</td><td>環境共生科学分野
社会福祉学分野
認知行動科学分野</td><td>志望する研究領域に関する卒業論文又はその概要、あるいは卒業論文に代わる論文又はその概要
・論文又はその概要は、題目及び氏名を明記し、6 部（コピー可）提出してください。用紙は A4 サイズに統一し、1 部ごとにホッチキスやダブルクリップ等で留めるなど、散逸しない状態で提出してください。
・英語以外の外国語で書かれた論文には、<u>必ず日本語訳又は英語訳を添付</u>してください。日本語訳又は英語訳には A4 用紙を使用してください。
・出願時に論文又はその概要を提出できない場合は、理由書（様式随意）を出願書類とともに提出してください。後日提出については 2027 年 1 月 6 日（水）必着を期限とします。
※なお、提出された卒業論文等は返却しません。</td></tr>
<tr><td>人間科学分野
臨床心理学分野</td><td>志望する研究領域に関する卒業論文あるいは卒業論文に代わる論文
・論文は、題目及び氏名を明記し、6 部（コピー可）提出してください。用紙は A4 サイズに統一し、1 部ごとにホッチキスやダブルクリップ等で留めるなど、散逸しない状態で提出してください。
・英語以外の外国語で書かれた論文には、<u>必ず日本語訳又は英語訳を添付</u>してください。日本語訳又は英語訳には A4 用紙を使用してください。
・出願時に論文を提出できない場合は、理由書（様式随意）を出願書類とともに提出してください。後日提出については 2027 年 1 月 6 日（水）必着を期限とします。
※なお、提出された卒業論文等は返却しません。</td></tr>
<tr><td>11</td><td colspan="2">出願資格認定書
《出願資格審査により
出願資格を認められた者のみ》</td><td>「〔3〕出願資格審査」を参照してください。</td></tr>
</table>

【 注意事項 】

・出願手続後は記載事項の変更を認めません。

・各証明書については、複写したものでは出願できません。
出願書類のうち、出願資格を証明する書類で原本を提出できない場合には、必ず原本を提示してください。原本については確認後に返却します。なお、郵送による提出の場合は、返送を希望する原本名を明記し、住所・氏名を記入の上、簡易書留（又は簡易書留速達）相当分の切手を貼付した返信用封筒を同封してください。
・**出願書類が日本語又は英語以外の場合は、必ず日本語訳又は英語訳を添付してください。**
・旧姓（名）の証明書等を使用する場合は、姓（名）の変更が確認できる公的書類（戸籍抄本、戸籍謄本、旧姓（名）併記の住民票等）の原本（コピー不可）を併せて提出してください。
・提出された出願書類は返却しません。

〈6〉出願についての注意
(1) P.5〔4〕出願手続〈2〉出願期間内に、出願登録、入学検定料等の支払い、出願確認票及び宛名ラベルの印刷、出願書類の提出（郵送又は持参）の全ての手続を行う必要があります。**出願登録と入学検定料等の支払いを行っただけでは出願手続は完了しませんので、注意してください。**
(2) 志願者情報の入力について
住所は、郵便物の受領可能な住所を入力してください。合格者発表時点の住所が異なる場合は、入試課（Tel：072 - 254 - 8319）まで問い合わせるか、郵便局に転居届を提出してください。
(3) 出願登録完了後は、出願登録内容を変更することはできません。入学検定料支払い前に誤入力に気がついた場合は、入学検定料を支払わずに、もう一度新たに最初から登録をやり直してください。また、出願受理後の出願取り消しは、一切認めません。
(4) 出願確認票に記載されている「出願受付番号」は受験番号ではありません。
(5) 出願書類に不備等があるものは受理できないことがあります。不備等について、出願登録時に入力された電話番号やメールアドレスに連絡することがありますので、必ず連絡可能な連絡先を登録してください。
(6) 既納の入学検定料は次の事由以外は返還しません。
〇返還可能な事由
①入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
②出願書類が不備等により受理されなかった場合
③重複して入学検定料を払い込みした場合
④国費留学生が本学大学院に入学した場合
（注）①から③の返還方法等は、出願書類提出期間最終日から1か月以内に入試課に問い合わせてください。④については、入学後に返還します。

〈7〉受験票等について
出願書類を受理した者には、インターネット出願時に登録したメールアドレス宛てに「受験票」と「受験上の注意」に関するお知らせのメールを送信します。メールに記載のURLからポータルサイトにログインし、受験票をA4用紙に各自で印刷し、試験当日に必ず持参してください（受験票は郵送しません）。
試験日3週間前になってもメールが届かない場合や、受験票の記載事項に誤りがある場合は、入試課へ問い合わせてください。
Tel：072 - 254 - 8319

〈8〉受験上の配慮について
障がいがある等で、受験上の配慮を希望する者は、原則として出願までに、できるだけ早く入試課まで申し出てください。
Tel：072 - 254 - 8319、E-mail：gr-nyu-ask4[at]omu.ac.jp　[at]を@に変更してください。

〔5〕試験日程

分野	第１次募集	第２次募集
環境共生科学分野	2026 年 8 月 25 日（火）	2027 年 2 月 9 日（火）
人間科学分野		
社会福祉学分野		
臨床心理学分野	2026 年 8 月 25 日（火）・26 日（水） ※ただし、26 日（水）は筆記試験合格者のみ	2027 年 2 月 9 日（火）・10 日（水） ※ただし、10 日（水）は筆記試験合格者のみ
認知行動科学分野	2026 年 8 月 25 日（火）	2027 年 2 月 9 日（火）

予備日

自然災害等の不測の事態により、上記日程での試験実施が困難となった際の予備日とします。

分野	第１次募集	第２次募集
環境共生科学分野	2026 年 8 月 28 日（金）	2027 年 2 月 12 日（金）
人間科学分野		
社会福祉学分野		
臨床心理学分野	下表の通り	
認知行動科学分野	2026 年 8 月 28 日（金）	2027 年 2 月 12 日（金）

分野	試験実施が困難となった日			予備日	
	第１次募集	第２次募集		第１次募集	第２次募集
臨床心理学分野	(1 日目) 2026 年 8 月 25 日（火）	(1 日目) 2027 年 2 月 9 日（火）	⇒	2026 年 8 月 28 日（金） 2026 年 8 月 29 日（土）	2027 年 2 月 12 日（金） 2027 年 2 月 13 日（土）
	(2 日目) 2026 年 8 月 26 日（水）	(2 日目) 2027 年 2 月 10 日（水）	⇒	2026 年 8 月 29 日（土）	2027 年 2 月 13 日（土）
	【備考】 ・1 日目の試験が実施困難となった場合、1 日目・2 日目とも予備日に試験を実施します。 ・1 日目は予定通り試験を実施し、2 日目の試験のみ実施困難となった場合は、予備日に 2 日目の試験を実施します。 ・2 日目は 1 日目の筆記試験合格者のみ実施します。				

※自然災害等により、入学試験等が予定通り実施できない場合、本学 Web サイトに『緊急のお知らせ』を掲載しますので、確認してください。 https://www.omu.ac.jp/admissions/g/news/

〔6〕入学者選考方法

(1) 入学者の選考は、筆記試験、口述試験、外部試験成績（環境共生科学分野と認知行動科学分野のみ）、研究計画書、卒業論文等（第２次募集）、その他の提出書類を総合して行います。ただし、臨床心理学分野においては筆記試験の合格者を発表し、口述試験は筆記試験合格者に対して行います。また、環境共生科学分野と社会福祉学分野、認知行動科学分野においては、大阪公立大学の環境社会システム学類、教育福祉学類、心理学類在学の出願者を対象に、別途の成績判定により、募集人員の一部について、筆記試験を免除する場合があります（第１次募集のみ）。

(2) 試験場は大阪公立大学中百舌鳥キャンパスとします。集合時間、場所等の詳細は受験票発行の際に通知します。

(3) 試験科目ならびに日程については次の通りです。第１次募集と第２次募集で選考方法が異なるので注意してください。

【 第１次募集 】

分野	2026 年 8 月 25 日（火）		8 月 26 日（水）	外部試験成績の利用
	10:00～12:00	14:00～	10:00～	
	専門科目	口述試験	口述試験	
環境共生科学分野	【別表】 参照（P.35）	研究計画書について問う。		2025 年 4 月以降に受験した TOEIC 又は TOEFL の成績を利用する。
人間科学分野	【別表】 参照（P.35）	研究計画書について問う。		
社会福祉学分野	社会福祉学に関する筆記試験。※ （社会福祉学に関する英語の文章を読解し、それに関する設問に解答する問題を含む）	研究計画書について問う。		
臨床心理学分野	基礎心理学および臨床心理学に関する筆記試験。 （臨床心理学に関する英語の文章を読解し、それに関する設問に解答する問題を含む）		研究計画書について問う。 なお、口述試験は筆記試験合格者に対して行います。筆記試験合格者は 25 日 18 時 30 分までに、試験実施棟玄関に掲示します。	
認知行動科学分野	心理学、人間情報学、建築環境学に関する筆記試験。 （心理学に関する英語の文章を読解し、それに関する設問に解答する問題を含む）	研究計画書について問う。		2025 年 4 月以降に受験した TOEIC 又は TOEFL の成績を利用する。

【 第２次募集 】

分野	2027 年 2 月 9 日（火）		2 月 10 日（水）	外部試験成績の利用
	10:00～11:20	13:00～	10:00～	
	専門科目	口述試験	口述試験	
環境共生科学分野	【別表】 参照（P.35）	卒業論文等および研究計画書について問う。		2025 年 4 月以降に受験した TOEIC 又は TOEFL の成績を利用する。
人間科学分野	【別表】 参照（P.35）	卒業論文等および研究計画書について問う。		
社会福祉学分野	社会福祉学に関する筆記試験。※ （社会福祉学に関する英語の文章を読解し、それに関する設問に解答する問題を含む）	卒業論文等および研究計画書について問う。		
臨床心理学分野	基礎心理学および臨床心理学に関する筆記試験。 （臨床心理学に関する英語の文章を読解し、それに関する設問に解答する問題を含む）		卒業論文等および研究計画書について問う。 なお、口述試験は筆記試験合格者に対して行います。筆記試験合格者は 9 日 17 時までに、試験実施棟玄関に掲示します。	
認知行動科学分野	心理学、人間情報学、建築環境学に関する筆記試験。 （心理学に関する英語の文章を読解し、それに関する設問に解答する問題を含む）	卒業論文等および研究計画書について問う。		2025 年 4 月以降に受験した TOEIC 又は TOEFL の成績を利用する。

【 注意事項 】

※社会福祉学分野の専門科目の受験に限り、英語辞書（電子辞書を除く）の持ち込みを 1 冊に限り認めます。必要とする場合は、各自で持参してください。

〔7〕合格者発表

〈1〉合格者発表

合格者の受験番号を本学 Web サイトに掲載します。なお、電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

発表日時	掲載場所
【第 1 次募集】 2026 年 9 月 4 日（金）10 時 【第 2 次募集】 2027 年 2 月 19 日（金）10 時	https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/pass/

Web サイトの掲載期間は、合格者発表日の 10 時から合格者発表日を含む 7 日目の 17 時までです。

〈2〉合格通知書及び入学手続案内

合格者には合格通知書及び入学手続案内を、合格者発表当日に簡易書留郵便で発送します。なお、発送は日本国内の住所に限ります。

【 注意事項 】

出願資格(9)による志願者のうち、入学資格審査（２次審査）を必要とする者については仮合格とし、２次審査に合格した者を合格者とします。合格者の発表については 2027 年 3 月 9 日（火）10 時に合格者の受験番号を本学 Web サイトに掲載するとともに、本人あてに通知します。Web サイトの掲載期間は、合格者発表日の 10 時から合格者発表日を含む 7 日目の 17 時までです。なお、電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

『全選抜共通事項』（P.37～）も必ず確認してください。

Ⅱ　社会人特別選抜学生募集要項

〔1〕募集人員

入学者の選考は第１次募集と第２次募集を実施し、別個に出願を受け付けます。
なお、第１次募集と第２次募集の合計募集人員は次の通りです。

専攻	分野	募集人員	
		第１次募集	第２次募集
現代システム科学専攻	環境共生科学分野	若干名	
	人間科学分野		
	社会福祉学分野		
	臨床心理学分野		
	認知行動科学分野		

※第２次募集は、第１次募集の結果にかかわらず実施します。

〔2〕出願資格

環境共生科学分野及び認知行動科学分野については、次のア、イのいずれかに該当する者。
人間科学分野及び臨床心理学分野については、次のアのいずれかに該当する者。
社会福祉学分野については、社会福祉に関連する教育・研究機関、施設、組織等において 4 年以上の活動経験があり現在活動している者で、次のア（(9) を除く）のいずれかに該当する者。

ア．次の各号のいずれかに該当する者。

(1)　我が国の大学を卒業し、入学時において卒業後 4 年以上経過している者
(2)　独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与され、入学時において卒業後 4 年以上経過している者
(3)　外国において、学校教育における 16 年の課程を修了し、入学時において修了後 4 年以上経過している者
(4)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了し、入学時において修了後 4 年以上経過している者
(5)　我が国において、外国の大学の課程 (*1) を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、入学時において修了後 4 年以上経過している者
　*1　その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。
(6)　外国の大学その他の外国の学校 (*2) において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること (*3) により、学士の学位に相当する学位を授与され、入学時において卒業後 4 年以上経過している者
　*2　その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。
　*3　当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。
(7)　専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了し、入学時において卒業後 4 年以上経過している者
(8)　文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）に該当し、入学時において卒業後 4 年以上経過している者
(9)　社会人入学又は社会人編入学の制度により入学した我が国の大学を卒業した者及び 2027 年 3 月 31 日までに卒業する見込みの者で、2027 年 3 月 31 日までに 26 歳に達する者
(10)　本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

イ．各種の試験研究機関、教育機関及び民間企業等に原則として 1 年以上勤務した経験のある者であって、次の各号のいずれかに該当する者。なお、入学後も引き続きその身分を有する場合は、所属する機関の長の承諾を得なければならない。

(1) 我が国の大学を卒業した者（学士の学位を有する者）
(2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
(3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
(5) 我が国において、外国の大学の課程 (*1) を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
*1 その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。
(6) 外国の大学その他の外国の学校 (*2) において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること (*3) により、学士の学位に相当する学位を授与された者
*2 その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。
*3 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。
(7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
(8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）
(9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

【 注意事項 】

・上記イによる志願者は、これまでの研究状況、入学後の研究体制と研究内容（研究指導、受講方法等）について、入学願書提出までに本分野の指導を希望する教員と協議することが必要です。
・上記ア(10)又はイ(9)による志願者は、出願資格審査が必要です。〔３〕出願資格審査を参照してください。

〔３〕出願資格審査

出願資格ア(10)又はイ(9)による志願者は、出願前に次の書類を提出してください。**ただし、環境共生科学分野、人間科学分野、社会福祉学分野、認知行動科学分野を希望する場合は、書類を提出する前に必ず指導を希望する教員と相談すること（P.47 参照）。また、臨床心理学分野を希望する場合で、かつ長期履修（P.38）を希望する場合は、書類を提出する前に必ず指導を希望する教員と相談すること（P.47 参照）。**
なお、提出書類に不備がある場合は審査を行えないことがあります。不明な点がある場合には事前に問い合わせてください。
出願資格ア(1)～(9)　又はイ(1)～(8)による志願者は、出願資格審査は不要です。

〈1〉提出書類等
本研究科所定の様式は、本学 Web サイトからダウンロードしてください。

1．出願資格審査申請書（本研究科所定の様式を使用してください。）
2．学習成果報告書（日本語の場合 2,000 字程度、英語の場合 800 語程度）
書式は問いませんが、A4 用紙を使用してください。
出願の根拠となる教育課程における学習について記述してください。その後、学習を継続している場合には、その後の学習成果についても記述してください。

【 注意事項 】

・各証明書については、複写したものでは受付できません。
・**提出書類が日本語又は英語以外の場合は、必ず日本語訳又は英語訳を添付してください。**
・本研究科から追加書類等の提出を求められた者は、速やかにその指示に従ってください。

〈2〉受付期間等

受付期間	送付先（問合せ先）
【第１次募集】 2026 年 6 月 8 日（月）～6 月 10 日（水）**必着** 【第２次募集】 2026 年 11 月 4 日（水）～11 月 6 日（金）**必着** （注）簡易書留･受付期間内必着で郵送してください。	〒599 - 8531 大阪府堺市中区学園町１番１号 大阪公立大学　入試課（中百舌鳥キャンパス） Tel：072 - 254 - 8319 （注）封筒の表に「現代システム科学研究科 出願資格審査書類在中」と朱書きしてください。

上記受付期間内の 10 時～17 時の時間に限り、中百舌鳥キャンパスの A3 棟 3 階入試課に直接提出することができます。
直接提出する場合でも、封筒を使用し、封をして提出してください。

・分野によっては必要に応じて簡略な試験等を行うことがあります。
・審査結果は、出願期間前に志願者に通知され、出願資格認定者には「出願資格認定書」が送付されます。
・第１次募集の出願資格審査で出願資格が認められた者については、同じ分野に出願する場合のみ第２次募集の出願資格審査を免除とします。

〔４〕出願手続

〈1〉指導を希望する教員への申し出について
志願者のうち、**環境共生科学分野、人間科学分野、社会福祉学分野、認知行動科学分野に出願する場合は、出願手続前に必ず指導を希望する教員と相談すること（P.47 参照）。また、臨床心理学分野に出願する場合で、かつ長期履修（P.38）を希望する場合は、出願手続前に必ず指導を希望する教員と相談すること（P.47 参照）。**

〈2〉出願期間
出願手続はインターネット出願登録及び出願書類の提出により行います。
※日本国外（海外）から出願する者は、【第１次募集】2026 年 6 月 26 日（金）、【第２次募集】2026 年 12 月 1 日（火）までに、志望分野及び氏名を入試課（gr-nyu-sss@omu.ac.jp）へメールで連絡してください。

項目	期間
インターネット出願登録期間	【第１次募集】　2026 年 6 月 26 日（金）10 時～7 月 8 日（水）17 時
	【第２次募集】　2026 年 12 月 1 日（火）10 時～12 月 9 日（水）17 時
出願に必要な書類提出期間	【第１次募集】　2026 年 7 月 6 日（月）～7 月 8 日（水）消印有効（注） 簡易書留で郵送してください。
	【第２次募集】　2026 年 12 月 7 日（月）～12 月 9 日（水）消印有効（注） 簡易書留で郵送してください。

（注）海外から送付する場合は、日本国内に到着した日が出願書類提出期間最終日までであれば有効とします。必ず追跡ができる方法で送付してください。

上記書類提出期間内の 10 時～17 時の時間に限り、中百舌鳥キャンパスの A3 棟 3 階入試課に直接提出することができます。
直接提出する場合でも、封筒を使用し、封をして提出してください。

〈3〉出願方法
次の step 1～step 6 の手順で出願を行ってください。

step 1	●事前準備	
	パソコン等の動作環境	・インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。
	印刷環境	・郵送が必要な書類を A4 用紙で印刷します。
	メール設定	・出願登録時にお知らせメールを送信します。メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。@sak-sak.net 及び@omu.ac.jp を受信可能なドメインとして設定してください。
	出願に必要な書類	・P.18〔4〕出願手続〈5〉出願書類等を参照の上、書類提出期間内に間に合うようあらかじめご用意ください。
	封筒	・出願書類は、必ず「宛名ラベル」を貼り付けた市販の角形 2 号封筒（24cm×33.2cm）に封入してください。「宛名ラベル」は、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから出力できます。

▼

step 2	●ポータルサイトにアクセス
	・出願登録開始日時以降に本学 Web サイトからポー~~タルサイ~~トへアクセスし、ユーザーID、パスワードを登録の上、インターネット出願登録を進めてください。 ※ポータルサイトのユーザーID としてメールアドレスが必要です。個人別成績の情報提供時（2026 年 11 月又は 2027 年 5 月）まで使用できるメールアドレスを登録してください。 本学 Web サイト URL https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/inet-apply/

▼

step 3	●出願登録
	・ポータルサイト内からインターネット出願サイトへ入り、「出願手順」、「Q&A」を必ず確認の上、出願登録を行ってください。 ・出願登録完了後に登録内容の変更はできませんので、必ず最終確認画面で登録した内容を十分確認してください。

▼

step 4	●入学検定料等の支払い			
	・インターネット出願サイトの指示に従って、次の（1）～（4）のいずれかの方法で、入学検定料（30,000 円）をお支払いください。（P.17〔4〕出願手続〈4〉入学検定料等の支払方法　参照） ・入学検定料の他に、支払手数料（990 円）が必要となります。			
	（1）	（2）	（3）	（4）
	クレジットカード	コンビニエンスストア	ATM（ペイジー）	インターネットバンキング

▼

step 5	●出願確認票及び宛名ラベルの印刷
	・再度インターネット出願サイトにアクセスし、A4 用紙に片面で印刷してください。 ・**インターネット出願登録期間内に必ず印刷を完了してください。**

▼

step 6	●出願書類の郵送、提出
	・出願書類を簡易書留により郵送（消印有効）してください。（P.18〔4〕出願手続〈5〉出願書類等参照） ・直接提出する場合は、書類提出期間、時間にご注意ください。 ・書類提出期間内に出願書類の提出がなければ、出願を受理しません。（P.16〔4〕出願手続〈2〉出願期間　参照）

〈4〉入学検定料等の支払方法

出願登録の際に必要な料金は以下のとおりです。

・入学検定料　30,000 円
・支払手数料　990 円

支払方法は、次の 4 種類が利用可能です。詳しい支払方法については、出願登録をする際に、インターネット出願サイト内の「お支払い方法選択」で選択した支払方法の画面で確認してください。

支払方法	取扱機関等
(1) クレジットカード	VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club （注）支払方法は、一括払いのみです。
(2) コンビニエンスストア	セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、セイコーマート （注）支払方法は、現金のみです。
(3) ATM（ペイジー）	Pay-easy マークの付いている金融機関の ATM で支払うことができます。 コンビニ窓口・コンビニの共有 ATM では使えません。
(4) インターネットバンキング	主要メガバンクをはじめ、Pay-easy 対応の全国 1,000 行以上のインターネットバンキングをご利用いただけます。 ※ご利用には、インターネットバンキングの利用契約が必要です。

〈5〉出願書類等

P.16〔4〕出願手続〈1〉指導を希望する教員への申し出について　を参照し、事前相談が必要な志願者は相談を済ませた後に出願登録を行ってください。入学検定料等の支払い後、次の書類を**全てそろえて書類提出期間内に提出**してください。

※P.15〔3〕出願資格審査を受けた者は、出願資格審査申請時と重複している書類を省略することができます。

・本学所定の様式は、本学 Web サイトからダウンロードしてください。『出願確認票』及び『宛名ラベル』は、**入学検定料等の支払い完了後にインターネット出願サイトから印刷可能**となります。
・出願書類は、**必ず下記『宛名ラベル』を貼り付けた市販の角形２号封筒（24cm×33.2cm）に封入**してください。

	出願書類等	作成方法等
1	出願確認票（大学提出用）	・インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A4 用紙に印刷してください。
2	宛名ラベル	・インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A4 用紙に印刷の上、市販の角形２号封筒（24cm×33.2cm）に貼り付けてください。
3	入学願書	・本研究科所定の様式を使用してください。 ・3 ヶ月以内に撮影した無補正の写真（4cm×3cm）を貼り付けてください。
4	履歴書	・本研究科所定の様式を使用してください。
5	写真票	・本研究科所定の様式を使用してください。 ・必要事項を記入し、3 ヶ月以内に撮影した無補正の写真（4cm×3cm）を貼り付けてください。
6	研究計画書	・本研究科所定の様式を使用してください。 ・志望する分野に関する学修・研究経過、入学後の研究課題、その研究方法を記述してください。
7	卒業（修了）証明書又は同見込証明書 （出願資格を証明する書類）	・出身大学の学長又は学部長等が発行したもの。 ・出願資格（2）に該当する者は、学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書。 ・外国の大学その他の外国の学校を修了又は修了見込みの者は学位取得（見込み）が明記されているもの。出身学校において卒業証明書と学位取得証明書が分かれている場合は、その両方（原本）を提出してください。
8	成績証明書	・出身大学長・学部長等が発行したもの。 ・高等専門学校出身者は本科・専攻科両方の成績証明書を提出してください。 ・編入学で入学した場合は、編入学する以前に在籍していた学校の成績証明書も併せて提出してください。

<table>
<tr>
<td>9</td>
<td>TOEIC 又は
TOEFL の
スコア証明書</td>
<td>環境共生科学分野
認知行動科学分野</td>
<td>・2025 年 4 月以降に実施された外部試験成績。有効なスコア証明書は次の通り。
<table>
<tr><td rowspan="4">1</td><td>TOEIC Listening&Reading 公開テスト（TOEIC-IP は不可）</td></tr>
<tr><td>TOEIC Listening&Reading Official Score Certificate（公式認定証）</td></tr>
<tr><td>【日本国内で受験した者】
TOEIC 申込サイトよりダウンロードした PDF の Digital Official Score Certificate（デジタル公式認定証）を A4 用紙に印刷したもの。
※QR コードから完全性、真正性の確認ができないものは不可。

【日本国外で受験した者】
志願者あてに送付された紙媒体の Official Score Certificate（公式認定証）の原本。
コピーや Web 上からダウンロードされたスコア証明書及び ETS から直接本学へ送付されたスコア証明書は不可。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>TOEFL iBT 会場受験（自宅受験は不可）</td></tr>
<tr><td></td><td>TOEFL iBT の Test Taker Score Report</td></tr>
<tr><td></td><td>ETS アカウント内よりダウンロードした PDF の Test Taker Score Report を A4 用紙に印刷したもの。
※本研究科で真正性の確認を行います。
※Test Date Score のうち 0-120 スコアのみを出願スコアとして活用します。
Test Date Score のうち 1-6 スコア（バンドスコア方式）及び MyBest®スコアは活用しません。</td></tr>
</table>
・<u>提出されたスコア証明書は返却しません。</u>
・出願時にスコア証明書を提出できない場合は、提出できない理由を記載した理由書（様式随意）を出願書類とともに提出してください。
・出願時にスコア証明書を提出した場合であっても、試験当日により良い成績の最新スコア証明書がある場合、再提出を認めます。
・出願時にスコア証明書を未提出又は、より良い成績のスコア証明書を再提出する場合、入学試験当日（初日）の 1 時間目開始前に、スコア証明書を監督者へ提出してください。
・スコア証明書を提出できない場合であっても受験することは出来ますが、外部試験結果による成績評価は、0 点となります。</td>
</tr>
<tr>
<td rowspan="2">10</td>
<td rowspan="2">※第 2 次募集
志願者のみ

志望する分野に関連する卒業論文（提出予定のものを含む）又はこれに代わる論文</td>
<td>環境共生科学分野
認知行動科学分野</td>
<td>志望する研究領域に関する卒業論文又はその概要、あるいは卒業論文に代わる論文又はその概要
・論文又はその概要は、題目及び氏名を明記し、6 部（コピー可）提出してください。用紙は A4 サイズに統一し、1 部ごとにホッチキスやダブルクリップ等で留めるなど、散逸しない状態で提出してください。
・英語以外の外国語で書かれた論文には、<u>必ず日本語訳又は英語訳を添付</u>してください。日本語訳又は英語訳には A4 用紙を使用してください。
・出願時に論文又はその概要を提出できない場合は、理由書（様式随意）を出願書類とともに提出してください。後日提出については 2027 年 1 月 6 日（水）必着を期限とします。
※なお、提出された卒業論文等は返却しません。</td>
</tr>
<tr>
<td>人間科学分野
臨床心理学分野</td>
<td>志望する研究領域に関する卒業論文あるいは卒業論文に代わる論文
・論文は、題目及び氏名を明記し、6 部（コピー可）提出してください。用紙は A4 サイズに統一し、1 部ごとにホッチキスやダブルクリップ等で留めるなど、散逸しない状態で提出してください。
・英語以外の外国語で書かれた論文には、<u>必ず日本語訳又は英語訳を添付</u>してください。日本語訳又は英語訳には A4 用紙を使用してください。
・出願時に論文を提出できない場合は、理由書（様式随意）を出願書類とともに提出してください。後日提出については 2027 年 1 月 6 日（水）必着を期限とします。
※なお、提出された卒業論文等は返却しません。</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>出願資格認定書
《出願資格審査により
出願資格を認められた者のみ》</td>
<td colspan="2">「〔3〕出願資格審査」を参照してください。</td>
</tr>
</table>

【 注意事項 】

・出願手続後は記載事項の変更を認めません。

・各証明書については、複写したものでは出願できません。

出願書類のうち、出願資格を証明する書類で原本を提出できない場合には、必ず原本を提示してください。原本については確認後に返却します。なお、郵送による提出の場合は、返送を希望する原本名を明記し、住所・氏名を記入の上、簡易書留（又は簡易書留速達）相当分の切手を貼付した返信用封筒を同封してください。

・**出願書類が日本語又は英語以外の場合は、必ず日本語訳又は英語訳を添付してください。**
・旧姓（名）の証明書等を使用する場合は、姓（名）の変更が確認できる公的書類（戸籍抄本、戸籍謄本、旧姓（名）併記の住民票等）の原本（コピー不可）を併せて提出してください。
・提出された出願書類は返却しません。

〈6〉出願についての注意

(1) P.16〔4〕出願手続〈2〉出願期間内に、出願登録、入学検定料等の支払い、出願確認票及び宛名ラベルの印刷、出願書類の提出（郵送又は持参）の全ての手続を行う必要があります。**出願登録と入学検定料等の支払いを行っただけでは出願手続は完了しませんので、注意してください。**

(2) 志願者情報の入力について
住所は、郵便物の受領可能な住所を入力してください。合格者発表時点の住所が異なる場合は、入試課（Tel：072 - 254 - 8319）まで問い合わせるか、郵便局に転居届を提出してください。

(3) 出願登録完了後は、出願登録内容を変更することはできません。入学検定料支払い前に誤入力に気がついた場合は、入学検定料を支払わずに、もう一度新たに最初から登録をやり直してください。また、出願受理後の出願取り消しは、一切認めません。

(4) 出願確認票に記載されている「出願受付番号」は受験番号ではありません。

(5) 出願書類に不備等があるものは受理できないことがあります。不備等について、出願登録時に入力された電話番号やメールアドレスに連絡することがありますので、必ず連絡可能な連絡先を登録してください。

(6) 既納の入学検定料は次の事由以外は返還しません。
〇返還可能な事由
①入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
②出願書類が不備等により受理されなかった場合
③重複して入学検定料を払い込みした場合
④国費留学生が本学大学院に入学した場合
（注）①から③の返還方法等は、出願書類提出期間最終日から１か月以内に入試課に問い合わせてください。④については、入学後に返還します。

〈7〉受験票等について

出願書類を受理した者には、インターネット出願時に登録したメールアドレス宛てに「受験票」と「受験上の注意」に関するお知らせのメールを送信します。メールに記載の URL からポータルサイトにログインし、受験票を A4 用紙に各自で印刷し、試験当日に必ず持参してください（受験票は郵送しません）。
試験日３週間前になってもメールが届かない場合や、受験票の記載事項に誤りがある場合は、入試課へ問い合わせてください。
Tel：072 - 254 - 8319

〈8〉受験上の配慮について

障がいがある等で、受験上の配慮を希望する者は、原則として出願までに、できるだけ早く入試課まで申し出てください。
Tel：072 - 254 - 8319、E-mail：gr-nyu-ask4[at]omu.ac.jp　[at]を@に変更してください。

〔5〕試験日程

分野	第１次募集	第２次募集
環境共生科学分野	2026 年 8 月 25 日（火）	2027 年 2 月 9 日（火）
人間科学分野		
社会福祉学分野		
臨床心理学分野	2026 年 8 月 25 日（火）・26 日（水） ※ただし、26 日（水）は筆記試験合格者のみ	2027 年 2 月 9 日（火）・10 日（水） ※ただし、10 日（水）は筆記試験合格者のみ
認知行動科学分野	2026 年 8 月 25 日（火）	2027 年 2 月 9 日（火）

予備日

自然災害等の不測の事態により、上記日程での試験実施が困難となった際の予備日とします。

分野	第１次募集	第２次募集
環境共生科学分野	2026 年 8 月 28 日（金）	2027 年 2 月 12 日（金）
人間科学分野		
社会福祉学分野		
臨床心理学分野	下表の通り	
認知行動科学分野	2026 年 8 月 28 日（金）	2027 年 2 月 12 日（金）

分野	試験実施が困難となった日			予備日	
	第１次募集	第２次募集		第１次募集	第２次募集
臨床心理学分野	(1 日目) 2026 年 8 月 25 日（火）	(1 日目) 2027 年 2 月 9 日（火）	⇒	2026 年 8 月 28 日（金） 2026 年 8 月 29 日（土）	2027 年 2 月 12 日（金） 2027 年 2 月 13 日（土）
	(2 日目) 2026 年 8 月 26 日（水）	(2 日目) 2027 年 2 月 10 日（水）	⇒	2026 年 8 月 29 日（土）	2027 年 2 月 13 日（土）
	【備考】 ・1 日目の試験が実施困難となった場合、1 日目・2 日目とも予備日に試験を実施します。 ・1 日目は予定通り試験を実施し、2 日目の試験のみ実施困難となった場合は、予備日に 2 日目の試験を実施します。 ・2 日目は 1 日目の筆記試験合格者のみ実施します。				

※自然災害等により、入学試験等が予定通り実施できない場合、本学 Web サイトに『緊急のお知らせ』を掲載しますので、確認してください。 https://www.omu.ac.jp/admissions/g/news/

〔6〕入学者選考方法

(1) 入学者の選考は、筆記試験、口述試験、外部試験成績（環境共生科学分野と認知行動科学分野のみ）、研究計画書、卒業論文等（第２次募集のみ。ただし社会福祉学分野を除く）、その他の提出書類を総合して行います。ただし、臨床心理学分野においては筆記試験の合格者を発表し、口述試験は筆記試験合格者に対して行います。

(2) 試験場は大阪公立大学中百舌鳥キャンパスとします。集合時間、場所等の詳細は受験票発行の際に通知します。

(3) 試験科目ならびに日程については次の通りです。第１次募集と第２次募集で選考方法が異なるので注意してください。

【 第１次募集 】

分野	2026 年 8 月 25 日（火）		8 月 26 日（水）	外部試験成績の利用
	10:00～12:00	14:00～	10:00～	
	専門科目	口述試験	口述試験	
環境共生科学分野	【別表】 参照（P.35）	研究計画書について問う。		2025 年 4 月以降に受験した TOEIC 又は TOEFL の成績を利用する。
人間科学分野	【別表】 参照（P.35）	研究計画書について問う。		
社会福祉学分野	社会福祉学に関する筆記試験。	研究計画書について問う。		
臨床心理学分野	基礎心理学および臨床心理学に関する筆記試験。 （臨床心理学に関する英語の文章を読解し、それに関する設問に解答する問題を含む）		研究計画書について問う。 なお、口述試験は筆記試験合格者に対して行います。筆記試験合格者は 25 日 18 時 30 分までに、試験実施棟玄関に掲示します。	
認知行動科学分野	心理学、人間情報学、建築環境学に関する筆記試験。 （心理学に関する英語の文章を読解し、それに関する設問に解答する問題を含む）	研究計画書について問う。		2025 年 4 月以降に受験した TOEIC 又は TOEFL の成績を利用する。

【 第２次募集 】

分野	2027 年 2 月 9 日（火）		2 月 10 日（水）	外部試験成績の利用
	10:00～11:20	13:00～	10:00～	
	専門科目	口述試験	口述試験	
環境共生科学分野	【別表】 参照（P.35）	卒業論文等および研究計画書について問う。		2025 年 4 月以降に受験した TOEIC 又は TOEFL の成績を利用する。
人間科学分野	【別表】 参照（P.35）	卒業論文等および研究計画書について問う。		
社会福祉学分野	社会福祉学に関する筆記試験。	研究計画書について問う。		
臨床心理学分野	基礎心理学および臨床心理学に関する筆記試験。 （臨床心理学に関する英語の文章を読解し、それに関する設問に解答する問題を含む）		卒業論文等および研究計画書について問う。 なお、口述試験は筆記試験合格者に対して行います。筆記試験合格者は 9 日 17 時までに、試験実施棟玄関に掲示します。	
認知行動科学分野	心理学、人間情報学、建築環境学に関する筆記試験。 （心理学に関する英語の文章を読解し、それに関する設問に解答する問題を含む）	卒業論文等および研究計画書について問う。		2025 年 4 月以降に受験した TOEIC 又は TOEFL の成績を利用する。

〔7〕合格者発表

〈1〉合格者発表

合格者の受験番号を本学 Web サイトに掲載します。なお、電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

発表日時	掲載場所
【第 1 次募集】 2026 年 9 月 4 日（金）10 時 【第 2 次募集】 2027 年 2 月 19 日（金）10 時	https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/pass/

Web サイトの掲載期間は、合格者発表日の 10 時から合格者発表日を含む 7 日目の 17 時までです。

〈2〉合格通知書及び入学手続案内

合格者には合格通知書及び入学手続案内を、合格者発表当日に簡易書留郵便で発送します。なお、発送は日本国内の住所に限ります。

『全選抜共通事項』（P.37～）も必ず確認してください。

Ⅲ　外国人留学生特別選抜学生募集要項

〔1〕募集人員

入学者の選考は第１次募集と第２次募集を実施し、別個に出願を受け付けます。
なお、第１次募集と第２次募集の合計募集人員は次の通りです。

専攻	分野	募集人員	
		第１次募集	第２次募集
現代システム科学専攻	環境共生科学分野	若干名	
	人間科学分野		
	社会福祉学分野		
	臨床心理学分野		
	認知行動科学分野		

※第２次募集は、第１次募集の結果にかかわらず実施します。

〔2〕出願資格

日本国籍を有しない者で、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を有する者又は入学時までに「留学」の在留資格を取得できる見込みの者、かつ次の各号のいずれかに該当する者。なお、我が国の大学等を卒業および卒業見込みの者においては、外国人留学生特別選抜制度により入学又は編入学した者に限る。

(1)　外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
(2)　我が国の大学を卒業した者及び 2027 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
(3)　独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び 2027 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
(4)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
(5)　我が国において、外国の大学の課程 (*1) を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
　*1　その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。
(6)　外国の大学その他の外国の学校 (*2) において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること (*3) により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
　*2　その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。
　*3　当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。
(7)　専修学校の専門課程 (*4) で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
　*4　修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。
(8)　文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）
(9)　次のいずれかに該当する者で、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（いわゆる飛び級）
　a.　我が国の大学に 3 年以上在学した者及び 2027 年 3 月 31 日までに大学に 3 年以上在学する見込みの者
　b.　外国において、学校教育における 15 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了する見込みの者

c. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

d. 我が国において、外国の大学の課程 (*5) を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

*5 その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。

(10) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

(11) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

【 注意事項 】

・上記(9)(10)(11)による志願者は、出願資格審査が必要です。〔3〕出願資格審査を参照してください。

・出願資格(9) a の「所定の単位」とは、3 年次終了時点で 4 年次開講の必修科目（卒業研究を含む）を除く卒業に必要な単位です。

・「留学」の在留資格を有しない者又は取得しない者が出願を希望する場合は、【第 1 次募集】2026 年 6 月 26 日（金）、【第 2 次募集】2026 年 12 月 1 日（火）までに、志望分野及び氏名を入試課（gr-nyu-sss@omu.ac.jp）へメールで連絡してください。

〔3〕出願資格審査

出願資格(9)(10)(11)による志願者は、出願前に次の書類を提出してください。**ただし、環境共生科学分野、人間科学分野、社会福祉学分野、認知行動科学分野を希望する場合は、書類を提出する前に必ず指導を希望する教員と相談すること（P.47 参照）。また、臨床心理学分野を希望する場合で、かつ長期履修（P.38）を希望する場合は、書類を提出する前に必ず指導を希望する教員と相談すること（P.47 参照）。**

なお、提出書類に不備がある場合は審査を行えないことがあります。不明な点がある場合には事前に問い合わせてください。

出願資格(1)～(8)による志願者は、出願資格審査は不要です。

〈1〉提出書類等

本研究科所定の様式は、本学 Web サイトからダウンロードしてください。

○ 出願資格(9)a による志願者

1．出願資格審査申請書（本研究科所定の様式を使用してください。）
2．在学証明書（在学期間を証明するもので、出身大学長・学部長等が発行したもの。）
3．2 年次までの成績証明書（出身大学において履修した科目の単位数および成績評価を記入したもの。）
4．他大学等の在学者にあっては、シラバス・履修要項等、大学等が発行している授業内容の分かる資料。

○ 出願資格(9)b、c、d による志願者

1．出願資格審査申請書（本研究科所定の様式を使用してください。）
2．修了証明書又は在学証明書（在学期間を証明するもので、出身大学長・学部長等が発行したもの。）
3．成績証明書（出身大学において履修した科目の単位数および成績評価を記入したもの。）
4．シラバス・履修要項等、出身大学等が発行している授業内容の分かる資料。
5．学習成果報告書（日本語の場合 2,000 字程度、英語の場合 800 語程度）
書式は問いませんが、A4 用紙を使用してください。出願の根拠となる教育課程における学習について記述してください。その後、学習を継続している場合には、その後の学習成果についても記述してください。

○ 出願資格(10)(11)による志願者

1．出願資格審査申請書（本研究科所定の様式を使用してください。）

2．学習成果報告書（日本語の場合 2,000 字程度、英語の場合 800 語程度）

書式は問いませんが、A4 用紙を使用してください。出願の根拠となる教育課程における学習について記述してください。その後、学習を継続している場合には、その後の学習成果についても記述してください。

【 注意事項 】

・各証明書については、複写したものでは受付できません。

・**提出書類が日本語又は英語以外の場合は、必ず日本語訳又は英語訳を添付してください。**

・本研究科から追加書類等の提出を求められた者は、速やかにその指示に従ってください。

・出願資格(9)により本研究科に志願する者は、出願資格審査（１次審査）を経たうえで、出願しなければなりません。入学試験に合格した者を仮合格者とし、年度末に最終審査である入学資格審査（２次審査）を経て合格者が決定されます。入学試験仮合格通知を受けた者のうち、２次審査を受けようとする者は 2027 年３月１日（月）16 時までに次の書類を入試課（現代システム科学研究科担当）に提出しなければなりません。

1．入学試験仮合格通知書

2．３年次修了までの成績証明書（出身大学長・学部長等が発行したもの。）

〈2〉受付期間等

受付期間	送付先（問合せ先）
【第１次募集】 2026 年６月８日（月）～6 月 10 日（水）**必着**	〒599 - 8531 大阪府堺市中区学園町１番１号 大阪公立大学　入試課（中百舌鳥キャンパス） Tel：072 - 254 - 8319 （注）封筒の表に「現代システム科学研究科 出願資格審査書類在中」と朱書きしてください。
【第２次募集】 2026 年 11 月４日（水）～11 月６日（金）**必着**	
(注)簡易書留･受付期間内必着で郵送してください。	

上記受付期間内の 10 時～17 時の時間に限り、中百舌鳥キャンパスの A3 棟３階入試課に直接提出することができます。
直接提出する場合でも、封筒を使用し、封をして提出してください。

・分野によっては必要に応じて簡略な試験等を行うことがあります。

・審査結果は、出願期間前に志願者に通知され、出願資格認定者には「出願資格認定書」が送付されます。

・第１次募集の出願資格審査で出願資格が認められた者については、同じ分野に出願する場合のみ第２次募集の出願資格審査を免除とします。

〔4〕出願手続

〈1〉指導を希望する教員への申し出について

志願者のうち、**環境共生科学分野、人間科学分野、社会福祉学分野、認知行動科学分野に出願する場合は、出願手続前に必ず指導を希望する教員と相談すること（P.47 参照）。また、臨床心理学分野に出願する場合で、かつ長期履修（P.38）を希望する場合は、出願手続前に必ず指導を希望する教員と相談すること（P.47 参照）。**

〈2〉出願期間

出願手続はインターネット出願登録及び出願書類の提出により行います。

※日本国外（海外）から出願する者は、【第１次募集】2026 年６月 26 日（金）、【第２次募集】2026 年 12 月１日（火）までに、志望分野及び氏名を入試課（gr-nyu-sss@omu.ac.jp）へメールで連絡してください。

項目	期間
インターネット出願登録期間	【第１次募集】　2026 年 6 月 26 日（金）10 時～7 月 8 日（水）17 時
	【第２次募集】　2026 年 12 月 1 日（火）10 時～12 月 9 日（水）17 時
出願に必要な書類提出期間	【第１次募集】　2026 年 7 月 6 日（月）～7 月 8 日（水）消印有効（注） 簡易書留で郵送してください。
	【第２次募集】　2026 年 12 月 7 日（月）～12 月 9 日（水）消印有効（注） 簡易書留で郵送してください。

（注）海外から送付する場合は、日本国内に到着した日が出願書類提出期間最終日までであれば有効とします。必ず追跡ができる方法で送付してください。

上記書類提出期間内の 10 時～17 時の時間に限り、中百舌鳥キャンパスの A3 棟 3 階入試課に直接提出することができます。
直接提出する場合でも、封筒を使用し、封をして提出してください。

〈3〉出願方法

次の step 1～step 6 の手順で出願を行ってください。

step 1	●事前準備	
	パソコン等の動作環境	・インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。
	印刷環境	・郵送が必要な書類を A4 用紙で印刷します。
	メール設定	・出願登録時にお知らせメールを送信します。メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。@sak-sak.net 及び@omu.ac.jp を受信可能なドメインとして設定してください。
	出願に必要な書類	・P.28〔4〕出願手続〈5〉出願書類等を参照の上、書類提出期間内に間に合うようあらかじめご用意ください。
	封筒	・出願書類は、必ず「宛名ラベル」を貼り付けた市販の角形 2 号封筒（24cm×33.2cm）に封入してください。「宛名ラベル」は、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから出力できます。

▼

step 2	●ポータルサイトにアクセス
	・出願登録開始日時以降に本学 Web サイトからポータルサイトへアクセスし、ユーザーID、パスワードを登録の上、インターネット出願登録を進めてください。 ※ポータルサイトのユーザーID としてメールアドレスが必要です。個人別成績の情報提供時（2026 年 11 月又は 2027 年 5 月）まで使用できるメールアドレスを登録してください。 本学 Web サイト URL https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/inet-apply/

▼

step 3	●出願登録
	・ポータルサイト内からインターネット出願サイトへ入り、「出願手順」、「Q&A」を必ず確認の上、出願登録を行ってください。 ・出願登録完了後に登録内容の変更はできませんので、必ず最終確認画面で登録した内容を十分確認してください。

▼

step 4	●入学検定料等の支払い			
	・インターネット出願サイトの指示に従って、次の（1）～（4）のいずれかの方法で、入学検定料（30,000 円）をお支払いください。（P.28〔4〕出願手続〈4〉入学検定料等の支払方法　参照） ・入学検定料の他に、支払手数料（990 円）が必要となります。			
	（1）	（2）	（3）	（4）
	クレジットカード	コンビニエンスストア	ATM（ペイジー）	インターネットバンキング

▼

step 5	●出願確認票及び宛名ラベルの印刷 ・再度インターネット出願サイトにアクセスし、A4 用紙に片面で印刷してください。 ・**インターネット出願登録期間内に必ず印刷を完了してください。**

▼

step 6	●出願書類の郵送、提出 ・出願書類を簡易書留により郵送（消印有効）してください。（P.28〔4〕出願手続〈5〉出願書類等参照） ・直接提出する場合は、書類提出期間、時間にご注意ください。 ・書類提出期間内に出願書類の提出がなければ、出願を受理しません。（P.26〔4〕出願手続〈2〉出願期間　参照）

〈4〉入学検定料等の支払方法

出願登録の際に必要な料金は以下のとおりです。

・入学検定料　30,000 円
・支払手数料　990 円

支払方法は、次の 4 種類が利用可能です。詳しい支払方法については、出願登録をする際に、インターネット出願サイト内の「お支払い方法選択」で選択した支払方法の画面で確認してください。

支払方法	取扱機関等
(1) クレジットカード	VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club （注）支払方法は、一括払いのみです。
(2) コンビニエンスストア	セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、セイコーマート （注）支払方法は、現金のみです。
(3) ATM（ペイジー）	Pay-easy マークの付いている金融機関の ATM で支払うことができます。 コンビニ窓口・コンビニの共有 ATM では使えません。
(4) インターネットバンキング	主要メガバンクをはじめ、Pay-easy 対応の全国 1,000 行以上のインターネットバンキングをご利用いただけます。 ※ご利用には、インターネットバンキングの利用契約が必要です。

〈5〉出願書類等

P.26〔4〕出願手続〈1〉指導を希望する教員への申し出について　を参照し、事前相談が必要な志願者は相談を済ませた後に出願登録を行ってください。入学検定料等の支払い後、次の書類を**全てそろえて書類提出期間内に提出**してください。
※P.25〔3〕出願資格審査を受けた者は、出願資格審査申請時と重複している書類を省略することができます。

・本学所定の様式は、本学 Web サイトからダウンロードしてください。『出願確認票』及び『宛名ラベル』は、**入学検定料等の支払い完了後にインターネット出願サイトから印刷可能**となります。
・出願書類は、**必ず下記『宛名ラベル』を貼り付けた市販の角形２号封筒（24cm×33.2cm）に封入**してください。

	出願書類等	作成方法等
1	出願確認票（大学提出用）	・インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A4 用紙に印刷してください。
2	宛名ラベル	・インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A4 用紙に印刷の上、市販の角形２号封筒（24cm×33.2cm）に貼り付けてください。
3	入学願書	・本研究科所定の様式を使用してください。 ・3 ヶ月以内に撮影した無補正の写真（4cm×3cm）を貼り付けてください。
4	履歴書	・本研究科所定の様式を使用してください。
5	写真票	・本研究科所定の様式を使用してください。 ・必要事項を記入し、3 ヶ月以内に撮影した無補正の写真（4cm×3cm）を貼り付けてください。
6	研究計画書	・本研究科所定の様式を使用してください。 ・志望する分野に関する学修・研究経過、入学後の研究課題、その研究方法を記述してください。

<table>
<tr><td>7</td><td>卒業（修了）証明書又は
同見込証明書
（出願資格を証明する書類）</td><td></td><td>・出身大学の学長又は学部長等が発行したもの。
・出願資格（3）に該当する者は、学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書。
・外国の大学その他の外国の学校を修了又は修了見込みの者は学位取得（見込み）が明記されているもの。出身学校において卒業証明書と学位取得証明書が分かれている場合は、その両方（原本）を提出してください。</td></tr>
<tr><td>8</td><td>成績証明書</td><td></td><td>・出身大学長・学部長等が発行したもの。
・高等専門学校出身者は本科・専攻科両方の成績証明書を提出してください。
・編入学で入学した場合は、編入学する以前に在籍していた学校の成績証明書も併せて提出してください。</td></tr>
<tr><td>9</td><td>TOEIC 又は
TOEFL の
スコア証明書</td><td>環境共生科学分野
認知行動科学分野</td><td>・2025 年 4 月以降に実施された外部試験成績。有効なスコア証明書は次の通り。
<table><tr><td>1</td><td>TOEIC Listening&Reading 公開テスト（TOEIC-IP は不可）</td></tr><tr><td></td><td>TOEIC Listening&Reading Official Score Certificate（公式認定証）</td></tr><tr><td></td><td>【日本国内で受験した者】
TOEIC 申込サイトよりダウンロードした PDF の Digital Official Score Certificate（デジタル公式認定証）を A4 用紙に印刷したもの。
※QR コードから完全性、真正性の確認ができないものは不可。

【日本国外で受験した者】
志願者あてに送付された紙媒体の Official Score Certificate（公式認定証）の原本。コピーや Web 上からダウンロードされたスコア証明書及び ETS から直接本学へ送付されたスコア証明書は不可。</td></tr><tr><td>2</td><td>TOEFL iBT 会場受験（自宅受験は不可）</td></tr><tr><td></td><td>TOEFL iBT の Test Taker Score Report</td></tr><tr><td></td><td>ETS アカウント内よりダウンロードした PDF の Test Taker Score Report を A4 用紙に印刷したもの。
※本研究科で真正性の確認を行います。
※Test Date Score のうち 0-120 スコアのみを出願スコアとして活用します。
Test Date Score のうち 1-6 スコア（バンドスコア方式）及び MyBest®スコアは活用しません。</td></tr></table>・<u>提出されたスコア証明書は返却しません。</u>
・出願時にスコア証明書を提出できない場合は、提出できない理由を記載した理由書（様式随意）を出願書類とともに提出してください。
・出願時にスコア証明書を提出した場合であっても、試験当日により良い成績の最新スコア証明書がある場合、再提出を認めます。
・出願時にスコア証明書を未提出又は、より良い成績のスコア証明書を再提出する場合、入学試験当日（初日）の 1 時間目開始前に、スコア証明書を監督者へ提出してください。
・スコア証明書を提出できない場合であっても受験することは出来ますが、外部試験結果による成績評価は、0 点となります。</td></tr>
<tr><td>10</td><td>**※第 2 次募集
志願者のみ**

志望する分野に
関連する卒業論文
（提出予定のもの
を含む）又は
これに代わる論文</td><td>環境共生科学分野
認知行動科学分野</td><td>志望する研究領域に関する卒業論文又はその概要、あるいは卒業論文に代わる論文又はその概要
・論文又はその概要は、題目及び氏名を明記し、6 部（コピー可）提出してください。用紙は A4 サイズに統一し、1 部ごとにホッチキスやダブルクリップ等で留めるなど、散逸しない状態で提出してください。
・英語以外の外国語で書かれた論文には、<u>必ず日本語訳又は英語訳を添付</u>してください。日本語訳又は英語訳には A4 用紙を使用してください。
・出願時に論文又はその概要を提出できない場合は、理由書（様式随意）を出願書類とともに提出してください。後日提出については 2027 年 1 月 6 日（水）必着を期限とします。
※なお、提出された卒業論文等は返却しません。</td></tr>
</table>

10 続き	**※第２次募集** **志願者のみ** 志望する分野に関連する卒業論文（提出予定のものを含む）又はこれに代わる論文	人間科学分野 臨床心理学分野	志望する研究領域に関する卒業論文あるいは卒業論文に代わる論文 ・論文は、題目及び氏名を明記し、6部（コピー可）提出してください。用紙はA4サイズに統一し、1部ごとにホッチキスやダブルクリップ等で留めるなど、散逸しない状態で提出してください。 ・英語以外の外国語で書かれた論文には、**必ず日本語訳又は英語訳を添付**してください。日本語訳又は英語訳にはA4用紙を使用してください。 ・出願時に論文を提出できない場合は、理由書（様式随意）を出願書類とともに提出してください。後日提出については2027年1月6日（水）必着を期限とします。 ※なお、提出された卒業論文等は返却しません。
11	在留カード（両面）のコピー		・在留カードの両面をコピーしたもの。 ・海外在住者においては、パスポートのコピー（顔写真のあるページ）を提出してください。
12	出願資格認定書 **《出願資格審査により出願資格を認められた者のみ》**		「〔３〕出願資格審査」を参照してください。

【 注意事項 】

・出願手続後は記載事項の変更を認めません。

・各証明書については、複写したものでは出願できません。
出願書類のうち、出願資格を証明する書類で原本を提出できない場合には、必ず原本を提示してください。原本については確認後に返却します。なお、郵送による提出の場合は、返送を希望する原本名を明記し、住所・氏名を記入の上、簡易書留（又は簡易書留速達）相当分の切手を貼付した返信用封筒を同封してください。

・**出願書類が日本語又は英語以外の場合は、必ず日本語訳又は英語訳を添付してください。**

・旧姓（名）の証明書等を使用する場合は、姓（名）の変更が確認できる公的書類（戸籍抄本、戸籍謄本、旧姓（名）併記の住民票等）の原本（コピー不可）を併せて提出してください。

・提出された出願書類は返却しません。

〈６〉出願についての注意

(1) P.26〔４〕出願手続〈２〉出願期間内に、出願登録、入学検定料等の支払い、出願確認票及び宛名ラベルの印刷、出願書類の提出（郵送又は持参）の全ての手続を行う必要があります。**出願登録と入学検定料等の支払いを行っただけでは出願手続は完了しませんので、注意してください。**

(2) 志願者情報の入力について
住所は、郵便物の受領可能な住所を入力してください。合格者発表時点の住所が異なる場合は、入試課（Tel：072‐254‐8319）まで問い合わせるか、郵便局に転居届を提出してください。

(3) 出願登録完了後は、出願登録内容を変更することはできません。入学検定料支払い前に誤入力に気がついた場合は、入学検定料を支払わずに、もう一度新たに最初から登録をやり直してください。また、出願受理後の出願取り消しは、一切認めません。

(4) 出願確認票に記載されている「出願受付番号」は受験番号ではありません。

(5) 出願書類に不備等があるものは受理できないことがあります。不備等について、出願登録時に入力された電話番号やメールアドレスに連絡することがありますので、必ず連絡可能な連絡先を登録してください。

(6) 既納の入学検定料は次の事由以外は返還しません。
〇返還可能な事由
①入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
②出願書類が不備等により受理されなかった場合
③重複して入学検定料を払い込みした場合
④国費留学生が本学大学院に入学した場合
（注）①から③の返還方法等は、出願書類提出期間最終日から１か月以内に入試課に問い合わせてください。④については、入学後に返還します。

〈７〉受験票等について

出願書類を受理した者には、インターネット出願時に登録したメールアドレス宛てに「受験票」と「受験上の注意」に関するお知らせのメールを送信します。メールに記載のURLからポータルサイトにログインし、受験票をA4用紙に各自で印刷し、試験当日に必ず持参してください（受験票は郵送しません）。
試験日３週間前になってもメールが届かない場合や、受験票の記載事項に誤りがある場合は、入試課へ問い合わせてください。
Tel：072‐254‐8319

〈8〉受験上の配慮について
障がいがある等で、受験上の配慮を希望する者は、原則として出願までに、できるだけ早く入試課まで申し出てください。
Tel：072 - 254 - 8319、E-mail：gr-nyu-ask4[at]omu.ac.jp　[at]を@に変更してください。

〔5〕試験日程

分野	第 1 次募集	第 2 次募集
環境共生科学分野	2026 年 8 月 25 日（火）	2027 年 2 月 9 日（火）
人間科学分野		
社会福祉学分野		
臨床心理学分野	2026 年 8 月 25 日（火）・26 日（水） ※ただし、26 日（水）は筆記試験合格者のみ	2027 年 2 月 9 日（火）・10 日（水） ※ただし、10 日（水）は筆記試験合格者のみ
認知行動科学分野	2026 年 8 月 25 日（火）	2027 年 2 月 9 日（火）

予備日

自然災害等の不測の事態により、上記日程での試験実施が困難となった際の予備日とします。

分野	第 1 次募集	第 2 次募集
環境共生科学分野	2026 年 8 月 28 日（金）	2027 年 2 月 12 日（金）
人間科学分野		
社会福祉学分野		
臨床心理学分野	下表の通り	
認知行動科学分野	2026 年 8 月 28 日（金）	2027 年 2 月 12 日（金）

分野	試験実施が困難となった日			予備日	
	第 1 次募集	第 2 次募集		第 1 次募集	第 2 次募集
臨床心理学分野	(1 日目) 2026 年 8 月 25 日（火）	(1 日目) 2027 年 2 月 9 日（火）	⇒	2026 年 8 月 28 日（金） 2026 年 8 月 29 日（土）	2027 年 2 月 12 日（金） 2027 年 2 月 13 日（土）
	(2 日目) 2026 年 8 月 26 日（水）	(2 日目) 2027 年 2 月 10 日（水）	⇒	2026 年 8 月 29 日（土）	2027 年 2 月 13 日（土）
	【備考】 ・1 日目の試験が実施困難となった場合、1 日目・2 日目とも予備日に試験を実施します。 ・1 日目は予定通り試験を実施し、2 日目の試験のみ実施困難となった場合は、予備日に 2 日目の試験を実施します。 ・2 日目は 1 日目の筆記試験合格者のみ実施します。				

※自然災害等により、入学試験等が予定通り実施できない場合、本学 Web サイトに『緊急のお知らせ』を掲載しますので、確認してください。　https://www.omu.ac.jp/admissions/g/news/

〔６〕入学者選考方法

(1) 入学者の選考は、筆記試験、口述試験、外部試験成績（環境共生科学分野と認知行動科学分野のみ）、研究計画書、卒業論文等（第２次募集のみ。ただし社会福祉学分野を除く）、その他の提出書類を総合して行います。ただし、臨床心理学分野においては筆記試験の合格者を発表し、口述試験は筆記試験合格者に対して行います。

(2) 試験場は大阪公立大学中百舌鳥キャンパスとします。集合時間、場所等の詳細は受験票発行の際に通知します。

(3) 試験科目ならびに日程については次の通りです。第１次募集と第２次募集で選考方法が異なるので注意してください。

【 第１次募集 】

分野	2026 年 8 月 25 日（火）		8 月 26 日（水）	外部試験成績の利用
	10:00～12:00	14:00～	10:00～	
	専門科目	口述試験	口述試験	
環境共生科学分野	【別表】 参照（P.35）	研究計画書について問う。		2025 年 4 月以降に受験した TOEIC 又は TOEFL の成績を利用する。
人間科学分野	【別表】 参照（P.35）	研究計画書について問う。		
社会福祉学分野	社会福祉学に関する筆記試験。※ （社会福祉学に関する英語の文章を読解し、それに関する設問に解答する問題を含む）	研究計画書について問う。		
臨床心理学分野	基礎心理学および臨床心理学に関する筆記試験。 （臨床心理学に関する英語の文章を読解し、それに関する設問に解答する問題を含む）		研究計画書について問う。 なお、口述試験は筆記試験合格者に対して行います。筆記試験合格者は 25 日 18 時 30 分までに、試験実施棟玄関に掲示します。	
認知行動科学分野	心理学、人間情報学、建築環境学に関する筆記試験。 （心理学に関する英語の文章を読解し、それに関する設問に解答する問題を含む）	研究計画書について問う。		2025 年 4 月以降に受験した TOEIC 又は TOEFL の成績を利用する。

【 第２次募集 】

分野	2027 年 2 月 9 日（火）		2 月 10 日（水）	外部試験成績の利用
	10:00～11:20	13:00～	10:00～	
	専門科目	口述試験	口述試験	
環境共生科学分野	【別表】 参照（P.35）	卒業論文等および研究計画書について問う。		2025 年 4 月以降に受験した TOEIC 又は TOEFL の成績を利用する。
人間科学分野	【別表】 参照（P.35）	卒業論文等および研究計画書について問う。		
社会福祉学分野	社会福祉学に関する筆記試験。※ （社会福祉学に関する英語の文章を読解し、それに関する設問に解答する問題を含む）	研究計画書について問う。		
臨床心理学分野	基礎心理学および臨床心理学に関する筆記試験。 （臨床心理学に関する英語の文章を読解し、それに関する設問に解答する問題を含む）		卒業論文等および研究計画書について問う。 なお、口述試験は筆記試験合格者に対して行います。筆記試験合格者は 9 日 17 時までに、試験実施棟玄関に掲示します。	
認知行動科学分野	心理学、人間情報学、建築環境学に関する筆記試験。 （心理学に関する英語の文章を読解し、それに関する設問に解答する問題を含む）	卒業論文等および研究計画書について問う。		2025 年 4 月以降に受験した TOEIC 又は TOEFL の成績を利用する。

【 注意事項 】

※社会福祉学分野の専門科目の受験に限り、英語辞書（電子辞書を除く）の持ち込みを 1 冊に限り認めます。必要とする場合は、各自で持参してください。

〔7〕合格者発表

〈1〉合格者発表

合格者の受験番号を本学 Web サイトに掲載します。なお、電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

発表日時	掲載場所
【第 1 次募集】 2026 年 9 月 4 日（金）10 時 【第 2 次募集】 2027 年 2 月 19 日（金）10 時	https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/pass/

Web サイトの掲載期間は、合格者発表日の 10 時から合格者発表日を含む 7 日目の 17 時までです。

〈2〉合格通知書及び入学手続書類

合格者には合格通知書及び入学手続案内を、合格者発表当日に簡易書留郵便で発送します。なお、発送は日本国内の住所に限ります。

【 注意事項 】

出願資格(9)による志願者のうち、入学資格審査（２次審査）を必要とする者については仮合格とし、２次審査に合格した者を合格者とします。合格者の発表については 2027 年 3 月 9 日（火）10 時に合格者の受験番号を本学 Web サイトに掲載するとともに、本人あてに通知します。Web サイトの掲載期間は、合格者発表日の 10 時から合格者発表日を含む 7 日目の 17 時までです。なお、電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

『全選抜共通事項』（P.37～）も必ず確認してください。

環境共生科学分野と人間科学分野の専門試験科目について

環境共生科学分野と人間科学分野については、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜の専門試験科目（筆記試験）を下記【別表】の内容より出題します。

また、環境共生科学分野と人間科学分野については、入学願書に必ず試験区分を記号で記入してください。

【別表】

環境共生科学分野

志望する研究領域に関する筆記試験。

次のＡ～Ｂの試験区分より１つを出願時に選択し、試験当日は選択した試験区分より解答する。試験区分は、指導を希望する教員の属する区分から選択すること（P.41～42 参照）。

試験区分	専門試験科目
A	自然科学系環境学
B	社会科学系環境学

人間科学分野

志望する研究領域に関する筆記試験。（人間科学に関する英語の文章を読解し、それに関する設問に解答する問題を含む）

次のＡ～Ｆの試験区分より１つを出願時に選択し、試験当日は選択した試験区分より解答する。試験区分は、指導を希望する教員の属する区分から選択すること（P.42～44 参照）。

試験区分	専門試験科目
A	社会学、人文地理学、文化人類学
B	文化史、思想史
C	人権・マイノリティ研究（左に関わる社会思想、教育社会学、都市社会学、近現代史の領域から、方法論横断的に出題する）
D	ジェンダー研究・セクシュアリティ研究
E	教育学、倫理学、哲学
F	言語学

認知行動科学分野の
公認心理師受験資格対応カリキュラム履修者の選抜について

1. 公認心理師試験受験資格を取得するためには、学士課程において文部科学省と厚生労働省で指定されたカリキュラムを履修している必要があるので、出願前に出身大学に確認してください。
2. 本カリキュラムを履修できる者は、履修希望者のうち、専門科目試験の成績上位 2 名までとなっており、第 1 次募集で履修者 2 名が決定した場合は、第 2 次募集の受験者は本カリキュラムを履修できません。
3. 本カリキュラムの履修を希望する者は、指導を希望する教員と出願前に行う面談で、その旨を申し出るとともに、履修者枠の空き状況を確認してください。
4. 本カリキュラムの履修を希望する者は、入学願書の所定欄にその旨を記入してください。
5. 本カリキュラム履修の許可については、合格通知書と併せて本人宛に通知します。

Ⅳ　全選抜共通事項

（入学手続・学費・長期履修制度・その他・経済支援制度・問合せ先）

〔1〕入学手続

〈1〉入学の時期

2027 年 4 月 1 日

〈2〉入学手続

入学手続案内の説明に従って、以下の期間にポータルサイトより手続してください。入学手続は、システムからの手続が必要となります。

※出願時に「卒業見込み」「修了見込み」等で出願した者は、入学手続案内の説明に従って、期日までに「卒業証明書」「修了証明書」等を提出してください。

	入学手続システム登録期間	ポータルサイト（入学手続システム）
第1次募集	2026 年 10 月 1 日（木）11 時 ～2026 年 10 月 6 日（火）12 時	https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/general/procedure/
第2次募集	2027 年 3 月 11 日（木）11 時 ～2027 年 3 月 15 日（月）12 時	

（注）・システム登録時に入学料の納付が必要となります。支払方法に応じて支払手数料がかかります。詳細は〔2〕学費（入学料・授業料）を確認してください。

・入学手続期間内に入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

※なお、一般選抜及び外国人留学生特別選抜の出願資格(9)の修了見込みにより受験し合格した者の入学手続の詳細については、2027 年 3 月中旬に合格者に通知します。入学手続期間内に入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

〔2〕学費（入学料・授業料）

学費（入学料・授業料）については、現時点での予定は次のとおりですが、いずれも改定される場合があります。入学手続案内に詳細を記載しますので、必ず確認してください。

（注）既納の納付金は還付しません。

〈1〉入学料　「大阪府民及びその子」282,000 円　「その他の者」382,000 円

「大阪府民及びその子」は、次の対象者が所定の手続を行い認定された場合に適用されます。

対象者：入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父母のいずれかが、入学日の 1 年以上前（2027 年春入学者の場合、2026 年 4 月 1 日以前）から引き続き大阪府内に住民票がある者。日本国籍を有しない者も同一の要件です。

必要書類：住民票（対象者全員）、戸籍全部事項証明書（必要者のみ）などの公的書類

※入学手続サイト登録期間の 1 か月以内に交付を受けてください。

詳細は入学手続案内に記載します。

・入学料は、入学手続期間内に納付してください。

・入学料の他に、支払手数料が必要となります（本人負担）。 支払方法は、下記の 3 種類が利用可能です。詳しい支払方法については、入学手続サイト内で選択した支払方法の画面で確認してください。

支払方法・支払手数料	取扱機関等
(1)クレジットカード ・大阪府民及びその子　6,500 円 ・その他の者　8,500 円	VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club （注）支払方法は、一括払いのみです。
(2)ATM（ペイジー）　1,250 円	Pay-easy マークの付いている金融機関の ATM で支払うことができます。 コンビニ窓口・コンビニの共有 ATM では使えません。
(3)インターネットバンキング　1,250 円	主要メガバンクをはじめ、Pay-easy 対応の全国 1,000 行以上のインターネットバンキングをご利用いただけます。 （注）ご利用には、インターネットバンキングの利用契約が必要です。

【 注意事項 】

支払方法(2)(3)について、ペイジーによる払込にかかる手数料や利用可能時間、現金での払込上限金額等については、金融機関ごとに異なる場合がございますので、事前に各金融機関の Web サイト等でご確認ください。

※支払手数料は取引内容・決済方法により変動します。確定金額は入学手続の際にご確認ください。

・入学料決済後は、いかなる理由があっても入学料を返還しません。

・本学では入学料の納付時期の猶予は行いません。

・博士前期課程入学手続者で「大阪公立大学等授業料等支援制度」に申請予定の場合でも、必ず入学料を納付してください。入学後、本制度による支援の対象者には、免除の割合に応じて入学料の還付を行います（入学後に申請が必要です）。
※外国人留学生は、本制度の対象外です。

〈2〉授業料　〔年額〕535,800 円（入学後に納付）

・授業料は、年額の 1/2 を半期毎（前期・後期）に、ご登録いただく口座からの引落により納付していただきます。

・口座引落日は前期：5 月 27 日、後期：10 月 27 日です。引落日が金融機関の休日等にあたる場合は、その翌営業日を引落日とします。

・在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定後の金額が適用されることがあります。

・授業料減免申請者や長期履修学生は、当該年度の授業料金額及び引落日が異なることがあります。

〈3〉その他

(1) 各種団体に加入していただくために別途費用が必要です。

(2) キャンパス間の移動に要する経費（交通費等）が必要になる場合があります。

(3) 個人ノートパソコン＜ラップトップ＞の準備（必携）
授業の履修登録や成績の閲覧、その他各種連絡事項のやり取りに加え、授業等においてもシステムの使用を前提とし、極力電子ファイルを用いた資料配付、課題提出を行うなど、パソコンを活用した教育・研究を進めていきます。新入生の皆さんは、授業が始まるまでにノートパソコンの準備をお願いします。ノートパソコンの必要スペック（2027 年度）は、本学 Web サイトで公開します（2027 年 2 月頃予定）。経済的な事情等によりノートパソコンの準備が困難な方については、1 年間の貸与制度を準備しています。

https://www.omu.ac.jp/campus-life/course/academic-calendar/index.html#pc

(4) 一部の研究科等では、実習費等が必要となります。金額等の詳細は、研究科のオリエンテーション等でお知らせします。

〔3〕長期履修制度

博士前期課程の標準修業年限は 2 年です。

社会人あるいは育児、介護などによって十分な学修時間を確保することが難しいなど、標準修業年限での修了が困難な学生には、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することにより学位を取得できる長期履修制度があります。詳しくは本学 Web サイトに掲載していますので、制度利用を希望する場合は、速やかに内容を確認して手続きを行ってください。

https://www.omu.ac.jp/contribution/recurrent/longcourse/index.html

〔4〕その他

〈1〉個人情報保護の取扱いについて

大阪公立大学では、個人情報の保護に関する法律及び公立大学法人大阪における個人情報の取扱い及び管理に関する規程に基づき、情報の収集は最小限に努めるとともに、その情報については法令等に沿い、適切な利用、管理をいたします。

(1) 個人情報の定義

本学が入学者選抜に用いた、氏名、住所、電話番号、受験番号、メールアドレス、生年月日、成績、配慮を行う上での健康情報、その他の当該個人を識別できるもの（当該情報のみでは識別できないが、他の情報と容易に照合することができ、それにより当該個人を識別できるものを含む）を指します。

(2) 個人情報の利用

- 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜、入学手続のほか、追跡調査等入試の改善に関する調査・研究、志望動向の調査・分析、入学後の学生生活支援関係業務（奨学金・授業料関係、学生生活相談、健康管理）、並びに教育改善等の FD※1 活動、大学運営改善等に向けた IR※2 に利用します。（入学者については、入学後の個人情報と併せて分析することを含みます。）
- 本学における学術研究目的で利用します。ただし、個人が特定される形でその成果を公表することはありません。
- データの電子化、電算処理、分析・統計、印刷、製本等を外部に委託する場合があります。本学から業務委託を受けた業者に個人情報の全部又は一部を提供する場合には、個人情報の保護に関する法律の趣旨に則った保護管理の事項を明記の上、契約します。

※1 FD：Faculty Development の略、教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組
例）授業方法についての研究会や新任教員のための研修会等

※2 IR：Institutional Research の略、大学の経営改善や学生支援、教育の質向上のため、学内データを収集・分析し、改善施策を立案、施策の実行・検証を行う活動

〈2〉個人別成績の情報提供について

個人別成績について、以下のとおり提供します。

(1) 提供期間

【第 1 次募集】2026 年 11 月 5 日（木）10 時～2026 年 11 月 27 日（金）15 時
【第 2 次募集】2027 年 5 月 7 日（金）10 時～2027 年 6 月 4 日（金）15 時

(2) 提供対象者

受験者本人に限ります。

(3) 提供方法

下記 URL よりポータルサイトにログインし、確認してください。

https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/score/

〈3〉公認心理師について

公認心理師試験受験資格を取得するためには、学士課程において文部科学省と厚生労働省で指定されたカリキュラムを履修済みである必要がありますので、ご留意ください。

〈4〉自然災害等により、入学試験等が予定通り実施できない場合、本学 Web サイトに『緊急のお知らせ』を掲載しますので、確認してください。

https://www.omu.ac.jp/admissions/g/news/

〈5〉出願書類等に虚偽があった場合、又は入学試験において不正行為をしたことが判明した場合は、入学手続完了後であっても、入学許可を取り消すことがあります。

〈6〉卒業（修了）見込み又は学位を授与される見込みで出願し、入学手続を完了した者が 2027 年 3 月 31 日までに卒業（修了）できなかった又は学位を授与されなかった場合は、入学許可を取り消します。

〈7〉本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づく、安全保障輸出管理に関する規程を定め、物品の輸出及び技術の提供について、厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。また、必要に応じて書類の提出を求めることがありますので、留意してください。

〔5〕経済支援制度

本学には、授業料減免制度（大阪府の授業料無償化等）や奨学金などの学生が利用できる経済支援制度があります。各種制度を利用するには申請が必要です。詳細や申請方法については、本学 Web サイトに掲載しています。（Web サイトの掲載内容は現時点の内容であり、変更となる可能性があります。）

＜大阪公立大学　経済支援制度＞
https://www.omu.ac.jp/campus-life/tuition/financial_aid/

※外国人留学生が利用できる経済支援制度については以下をご覧ください。
授業料減免　https://www.omu.ac.jp/campus-life/information/exemption/
奨学金　https://www.omu.ac.jp/campus-life/information/scholarship/

【授業料減免】　【奨学金】

〔6〕問合せ先

大阪公立大学
入試課（中百舌鳥キャンパス）現代システム科学研究科担当
〒599 - 8531　大阪府堺市中区学園町 1 番 1 号
Tel : 072 - 254 - 8319

現代システム科学研究科　博士前期課程の概要

現代システム科学研究科現代システム科学専攻は、環境共生科学、人間科学、社会福祉学、臨床心理学、認知行動科学の各専門領域における教育研究を深化させるとともに、領域を横断する学問的交流を促進することにより、従来の学術領域の枠組みにとらわれない発想にもとづく教育研究を推進し、持続可能な社会の実現に貢献する人材育成と研究の拠点となることを目指します。

【環境共生科学分野】

地域・国・国際社会レベルに広がる重層的な人と自然とのつながりを解きほぐしつつ、技術面のみならず法律や経済といった社会科学的知見を活用してその課題解決に取り組む能力を身につける教育研究を行います。博士前期課程では、それぞれの専門的知識と技能を用いて、高い倫理観、使命感を持って持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育成します。

▸▸▸ 博士前期課程　担当教員（2026 年 5 月現在）

＜自然科学系環境学＞

氏　名	研究領域	研究内容
阿久井　康平 （准教授）	景観デザイン学 都市計画学	持続可能な都市構造の実現に向けた都市・地域計画／都市空間の計画・設計技術及びデザイン／ランドスケープデザイン／景観まちづくりの研究実践／景観論（景観工学・景観史）／都市形成史
生田　英輔 （教授）	都市防災学	災害時の人的被害発生メカニズムの解明／コミュニティ防災による災害対策／防災人材育成システムの開発／避難行動／防災意識／防災教育
伊藤　康人* （教授）	地質学	プレート収束境界のテクトニックプロセス研究／物理探査技術に基づく活断層評価／大量絶滅イベントに関連する古環境変動解析／新第三系の層序学的研究
大塚　耕司 （教授）	海洋環境学	閉鎖性海域の環境修復／海産バイオマスを利用した物質循環システムの構築／海洋深層水の多目的利用／環境－経済統一指標を用いた包括的環境影響評価
大山　克己 （教授）	植物生産科学	植物工場（垂直農場）を含む植物生産システムのエネルギーおよび物質収支解析／植物生産システムにおける生産性向上／環境計測制御技術の開発／植物の環境応答
興津　健二 （教授）	環境化学	物理化学的手法を利用する水処理技術の開発／機能性ナノ材料の創製と応用に関する研究／超音波化学反応とソノプロセスの開発
門脇　浩明 （准教授）	環境生態学	生物群集の多種共存機構／植物と土壌微生物の相互作用／森林生態系における生物多様性や機能の評価／フィールドにおける操作実験／生物群集に関する統計数理学的な研究
黒田　桂菜 （准教授）	海洋環境学	海陸一体型物質循環型社会の構築に関する研究：未活用海産バイオマスのメタン発酵／エクセルギーを用いた持続可能性評価／海洋環境に関する意識調査／漁業・魚食の活性化
竹中　規訓* （教授）	環境化学 異相化学	水の相変化に伴う反応の研究／大気窒素化合物の動態解明／環境中の微量物質の新規測定法の開発と反応／ウルトラファインバブルの基礎化学／バイオ燃料
藤井　佑介 （准教授）	大気環境学	野外／室内実験に基づく大気汚染に関する環境影響メカニズムの解明及びその評価
星　英之 （教授）	公衆衛生学	人と動物との共生／飼い主のいない猫の適正管理に関する研究／野生獣肉の衛生的な利用方法に関する研究／鯨類の腸内及び呼吸器細菌叢に関する研究

*2027 年 3 月退職予定

＜社会科学系環境学＞

氏　名	研究領域	研究内容
住田　守道 （准教授）	不法行為法学	交通事故･公害･薬害等における人身損害賠償／不法行為法の研究（日仏）
ソ　ヌリ （講師）	行政法・災害法など	災害の法化／被災者支援／日韓比較法
千葉　知世 （准教授）	環境政策学	海洋ごみ問題をめぐる政策とガバナンス／地下水保全管理政策
天畠　華織 （准教授）	環境経済学	気候変動適応策／気候変動・自然災害の経済的影響／環境問題・環境政策に関する実証研究
中島　清隆 （准教授）	環境政策学	エネルギー大転換と持続可能性移行に向けた環境政策・ガバナンス
西川　弘展 （准教授）	経済学説史	J.M.ケインズ／マクロ経済政策史／マクロ経済理論史／貨幣・銀行・信用理論史／貨幣・銀行・信用制度論史
野村　恭代 （教授）	地域社会学 合意形成論	コンフリクト･マネジメント／施設コンフリクト／相互支援型拠点／福祉防災／居住福祉／ひきこもりの実態解明と支援
花村　周寛 （教授）	環境デザイン学 環境表象学	環境デザインおよび社会芸術の研究実践／環境のトランスケープ研究／包括的デザインサイエンスに関する研究／環境デザイン史／環境計画学
古川　朋雄 （准教授）	会社法 証券法	企業活動における権限分配と責任分担／コーポレート･ガバナンス／企業買収における取締役の責任／証券市場における公正性の確保
吉川　丈 （准教授）	産業組織論	公営企業と民間企業が競争する市場（混合寡占市場）／民営化／広告戦略／参入規制／CSR

【人間科学分野】

人間・社会・文化に関する諸課題に対して、深い科学的認識とその幅広い総合化によって、人間科学、社会科学の多様な専門領域を横断した学際的な教育研究を行います。博士前期課程においては、社会学、人文地理学、文化人類学、文化史、思想史、教育学、倫理学、哲学、人権・マイノリティ研究、ジェンダー研究、セクシュアリティ研究、言語学といった多様な領域の相互補完、相互触発を促すことによって、専門的知識を横断的、複合的に身につけ、重層的で柔軟な思考力と実践能力をもって主体的に現代の諸課題に取り組む高度専門職業人を育成します。

▸▸▸ 博士前期課程　担当教員（2026 年 4 月現在）

＜社会学・人文地理学・文化人類学＞

氏　名	研究領域	研究内容
上村　隆広 （教授）	社会システム論・ 社会理論・社会学史	社会学・社会理論（学説・学史研究、特に英・独語圏における社会システム論）／モビリティとツーリズム社会研究
王（オウ）　文潔（ブンケツ） （講師）	地域社会学 集合行動論	災害時の組織間連携／復興過程におけるつながりづくりの実践と地域社会の再編・再生の研究
工藤　宏司 （准教授）	社会問題論・逸脱論 教育社会学	「不登校」「ひきこもり」現象の社会構築主義的研究
橋爪　太作 （准教授）	文化人類学	メラネシア・ソロモン諸島における土地と人間の関わり、および森林伐採と気候変動の中でのその現代的な変容／マリリン・ストラザーンを中心としたメラネシアからの社会理論／自然の人類学
福田　珠己 （教授）	文化地理学	場所・自然に関する文化地理学的研究／「ホーム」概念についてのフェミニスト地理学的研究／ヘリテージ・スタディーズ／地理思想研究

氏　名	研究領域	研究内容
藤田　渡 （教授）	環境社会学	東南アジアでの自然資源の持続的利用をめぐる政治・社会過程／産業用作物の栽培拡大が地域の社会生態に与える影響／科学的知識の権力性と地域社会の抵抗戦略
水野　真彦 （教授）	経済地理学	知識・企業間ネットワーク・産業集積に関する経済地理学的研究

＜文化史・思想史＞

氏　名	研究領域	研究内容
池平　紀子 （教授）	中国思想史	六朝時代から隋・唐代にかけての三教（儒教・仏教・道教）交渉史／特に中国撰述仏教経典（疑経・偽経）と道教経典との関係
奥村　和子 （教授）	日本語学	アクセント史を中心とした日本語の音韻史
櫻井　俊郎** （教授）	中国史	明清時代の政治制度（文書行政）／明末の北辺防衛
佐々木　博光* （准教授）	西洋史	ヨーロッパ・ユダヤ人の歴史／民族問題／迫害と共存／歴史教育／フィランソロピー学／西洋医学・医療史
山東　功 （教授）	日本語学 日本思想史	近世漢学・国学・蘭学言語思想史／近代における「国語」の成立／日系移民社会の言語
住友　陽文** （教授）	日本近現代史	「大正デモクラシー」の研究／立憲主義思想と国体論の関係論／原子力開発と 55 年体制の研究
高垣　里衣 （准教授）	西洋近世史 西洋近現代史	グローバル・ヒストリー／経済史／国際商業史／スペイン帝国史／バスク史と複合国家論／海事史・海域史
西田　正宏 （教授）	近世日本文学	歌学を中心とする学芸史の研究
前川　真行 （教授）	政治哲学 思想史	フランス、およびアメリカを中心とした、西洋、そして日本近代の政治思想史・社会思想史

*2027 年 3 月退職予定
**2028 年 3 月退職予定

＜人権・マイノリティ研究（思想、教育、歴史、現代社会）＞

氏　名	研究領域	研究内容
大久保　遥 （講師）	教育社会学	子ども・若者論／不登校／貧困・格差／通信制高校／教育による包摂と排除／ジェンダーと教育
坂東　希※ （准教授）	非行・犯罪の 心理臨床	性問題行動への治療教育／トラウマからの回復／修復的司法／集団・組織・コミュニティづくり
廣岡　浄進 （教授）	文化交流史 日本近現代史	部落問題論／日本学／帝国史研究（植民地統治下の朝鮮近現代史、在満朝鮮人問題）／マイノリティ研究／差別論

※印の教員は、授業のみ受け持ち、「指導教員」は担当しません。

＜ジェンダー研究・セクシュアリティ研究＞

氏　名	研究領域	研究内容
乾　順子 （教授）	ジェンダー研究 家族社会学	性別分業の実態と変容／社会意識／ケア労働（家事、介護）／女性の就業／家族の変容／計量分析
内藤　葉子 （教授）	ジェンダー研究 政治学・政治思想	フェミニズム思想・理論／ジェンダー史／政治学・政治思想史／ケアの倫理と依存／女性の身体性と主体性／ドイツ女性運動／政治と倫理
東　優子 （教授）	ジェンダー研究 性科学	性の健康と権利をめぐる諸問題、身体の自律とインテグリティ

＜教育学、倫理学、哲学＞

氏　名	研究領域	研究内容
上柿　崇英 （教授）	環境哲学 現代人間学	環境論／持続可能性論／人間存在論
田村　徳子 （准教授）	比較教育学 ラテンアメリカ地域研究	ラテンアメリカの教育／マイノリティのための教育／学校と地域社会の関係／校長の選び方
中山　博晶 （講師）	社会教育学 生涯学習論	排除と包摂をめぐる教育学／労働者の文化・表現と自己形成
森岡　次郎 （教授）	教育哲学 教育思想史	教育における「他者」概念に関する研究／教育・福祉の言説と実践に関する研究
山本　由美子 （教授）	生命倫理・医療社会学 科学技術社会論	生と生存の思想と技法／性と生殖をめぐる倫理・哲学・技術・社会／医学研究と戦争／生命と身体の哲学

＜言語学＞

氏　名	研究領域	研究内容
田中　美津子 （教授）	外国語教育 応用言語学	第二言語習得における学習者心理
徳永　アン* （教授）	英語教育	応用言語学／英語教育学／選択体系機能言語学
中村　直子 （准教授）	言語学 ドイツ語学	主に複合動詞における造語論、意味論、統語論に関する研究
宮畑　一範 （准教授）	認知意味論	日本語、英語語彙の多義構造の研究 ことばの意味と理解に反映される人間の認知メカニズム
森田　耕平 （准教授）	日本語学	現代日本語の動詞の中止形の意味・機能に関する記述的研究
楊（ヤン）　眞淑（ジンスク） （准教授）	社会言語学	英語使用と社会構造との関連／言語政策

*2027 年 3 月退職予定

【社会福祉学分野】

少子高齢化や社会的格差の拡大などから生じる問題を科学的に分析し、解決の知見を生成するには、根拠に基づいた実践や援助が必要です。これは、現代社会の課題を深く問い直し、社会福祉の価値を再確認することを通して可能となります。博士前期課程では、社会福祉学理論、社会福祉に関連する政策、調査手法、ソーシャルワークについて学び、学術的かつ実践的な理解を深めた上で、政策的な立場あるいは臨床的な立場から社会福祉問題の解決を進めることができる能力を涵養します。

▸▸▸ 博士前期課程　担当教員（2026 年 4 月現在）

氏　名	研究領域	研究内容
伊藤　嘉余子 （教授）	子ども家庭福祉論 社会的養護	社会的養護に関する国際比較／児童養護におけるソーシャルワーク・ケアワーク・レジデンシャルワーク／里親支援（フォスタリング）／社会的養護経験者の自立支援
岩本　華子 （准教授）	ソーシャルワーク理論 女性福祉	困難な問題を抱える女性に対するソーシャルワーク実践に関する研究／DV と虐待が交差するケースに対する支援に関する研究
木曽　陽子 （教授）	保育学・発達支援	障害のある子どもとその家族への支援／インクルーシブな保育・教育／保育所における組織的支援／地域における子ども・子育て支援
嵯峨　嘉子 （准教授）	公的扶助論	反貧困政策および公的扶助制度（生活保護制度、福祉事務所など支援体制）に関する研究／公的扶助制度に関する日独比較

氏　名	研究領域	研究内容
全（ジョン）　泓奎（ホンギュ） （教授）	社会的包摂論 社会開発論	東アジアの貧困や排除、社会政策の生産主義モデル、社会開発・社会的投資に関するアクションリサーチ
田垣　正晋 （教授）	障害者福祉論 障害者心理 質的研究論	障害者本人および家族の心理社会的問題に関する実証研究／障害者計画の運営管理等、自治体の障害者施策に関する研究／質的研究のあり方／障害者差別解消法への心理社会的アプローチ
濱島　淑恵 （教授）	高齢者福祉論	家族介護者が抱える生活問題と支援制度に関する研究／ヤングケアラーの現状に関する研究
東根　ちよ （准教授）	地域福祉論	小地域を基盤とする福祉活動に関する研究／ボランタリー領域をめぐる自治体政策に関する研究
本田　優子 （講師）	医療福祉	医療ソーシャルワーク／がん治療と仕事の両立の支援
松田　博幸* （准教授）	社会福祉方法論	セルフヘルプ・グループの実態およびそれらに対する支援方法に関する研究／オートエスノグラフィーに関する研究
三田　優子** （准教授）	精神保健福祉 障害者福祉	精神障害者・知的障害者への当事者主体の援助に関する研究
山中　徹二 （准教授）	スクールソーシャルワーク ・子ども家庭福祉	スクールソーシャルワーク実践に関する研究／社会モデルの視点に基づく障害のある児童生徒への支援に関する研究
吉田　直哉 （准教授）	保育学 教育人間学	戦後日本の保育理論史・実践史／保育カリキュラムの構想と保育の「質」の保証／保育者のライフヒストリー／保育士養成カリキュラムの改善
吉武　信二 （教授）	健康福祉・教育 スポーツ科学	効果的な健康維持増進／ダイエット、トレーニングの方法および支援に関する研究
吉原　雅昭 （准教授）	社会政策・社会福祉 計画・認知症ケア	認知症ケア（政策、実践）の日本、スウェーデン比較／パーソンセンタードケア／基礎自治体を基盤とする福祉システムの国内および国際比較

*2027 年 3 月退職予定
**2028 年 3 月退職予定

【臨床心理学分野】

臨床心理学分野では、現代における心の問題を理解するための背景となる視点を涵養しつつ、学内心理相談室での心理療法・心理検査の担当や学外実習施設での充実した臨床実習を通じ、臨床心理学の専門的理論・知識・技能を身につけ、高度な専門的業務に従事することのできる人材を育成します。臨床心理学分野は、日本臨床心理士認定協会第一種指定大学院であり、臨床心理士および公認心理師受験資格の両カリキュラムに対応しています。

▸▸▸ 博士前期課程　担当教員（2026 年 4 月現在）

氏　名	研究領域	研究内容
片畑　真由美 （教授）	臨床心理学	イメージ体験および表現に関する心理臨床学的研究／プレイセラピーにおける主体の生成プロセス／箱庭・物語・描画における身体感覚の役割
川部　哲也 （教授）	臨床心理学	主観的体験に関する心理臨床学的研究／心理療法とサブカルチャーの関係／南極心理学研究／深層心理学に基づく心理療法と自閉症スペクトラム障がい
髙橋　幸治 （教授）	臨床心理学	イメージの創造性や身体性に着目した心理療法の研究／イメージを利用したグループアプローチ／教育現場での心理療法的関わり
長谷　雄太 （講師）	臨床心理学	“悪”という事象に関する心理臨床学的研究／心理療法における物語／教育機関における心理臨床／アバターを用いた心理療法

氏　名	研究領域	研究内容
樋口　亜瑞佐 （准教授）	臨床心理学	被虐待児の心理療法／社会的養護経験者の臨床心理学的支援に関する研究／セクシュアルマイノリティ（LGBTs）に対する臨床心理学的サポート

【認知行動科学分野】

認知行動科学分野では、基礎的な実験系心理学を中心に発達心理学、社会心理学、認知情報学といったヒトの認知と行動に関わる関連領域の研究・教育を行い、人間の内面的な状態に起因する問題から構成される現代社会が抱える複合的な問題に対し、「ヒトとヒトとのつながり」および「ヒトの心と環境とのつながり」の観点から課題解決に取り組むことができる人材を育成します。

認知行動科学分野では、指定の科目を履修することにより、公認心理師試験の受験資格を取得可能です。ただし、この公認心理師受験資格対応カリキュラムを履修できる者は、２名までです。履修を希望する者はP.36 を必ず参照の上、出願してください。

▸▸▸ 博士前期課程　担当教員（2026 年 4 月現在）

氏　名	研究領域	研究内容
池田　文人 （教授）	知識科学 深層学習	問いの認知／問いの心理／問いの評価／問いの生成支援／問いの協創
岩佐　和典 （准教授）	感情心理学 臨床心理学	感情の機能／感性的質感の心理物理／心理査定／精神疾患の病態解明／慢性疾患の心理臨床
岡本　真彦 （教授）	学習科学 発達心理学	数の認知・発達過程／メタ認知／算数文章題の認知・メタ認知過程／学習支援システムの開発／ジェスチャーの発達
河野　直子 （准教授）	老年心理学 臨床心理学	心理査定／加齢・精神疾患に伴う認知機能変化／高齢ドライバ特性／軽度認知障害・認知症の心理臨床
河村　悠太 （准教授）	社会心理学 進化心理学	評判／利他性／向社会的行動／社会的認知／共感
飛田　国人 （教授）	環境心理学 建築環境工学	都市・建築環境の心理生理評価／温熱的快適性／熱中症やヒートショックの予防
野津　亮 （教授）	認知情報学 ソフトコンピューティング	認知モデル／学習アルゴリズム／エージェントシミュレーション／最適化アルゴリズム
畑野　快 （准教授）	パーソナリティ心理学 青年心理学	アイデンティティ／パーソナリティ／動機づけ／心理的健康
牧岡　省吾 （教授）	認知心理学 認知科学	共感覚／視覚的単語認知／非意識過程／記憶／言語獲得／ニューラルネットワーク
武藤　拓之 （准教授）	知覚心理学 認知心理学	視知覚／空間認知／身体化認知／心的イメージ／意思決定／ベイズ統計モデリング
吉田　博美※ （准教授）	臨床心理学	トラウマケア／犯罪被害者支援／学生相談／性暴力被害／PTSD／危機介入と予防／トラウマ焦点化認知行動療法
吉村　晋平 （准教授）	実験精神病理学 臨床心理学	抑うつ・不安における非機能的認知の神経基盤／精神疾患における感情制御の困難／認知行動療法の治療メカニズム

※印の教員は、授業のみ受け持ち、「指導教員」は担当しません。

現代システム科学研究科　博士前期課程　教員メールアドレス一覧

※[at] は@で置き換えてください。　［2026 年 5 月現在］

【環境共生科学分野】

＜自然科学系環境学＞

氏　　名	メールアドレス
阿久井　康平（准教授）	akui[at]omu.ac.jp
生田　英輔（教授）	ikuta[at]omu.ac.jp
伊藤　康人（教授）	yasuto.itoh[at]omu.ac.jp
大塚　耕司（教授）	otsuka[at]omu.ac.jp
大山　克己（教授）	ohyama[at]omu.ac.jp
興津　健二（教授）	okitsu[at]omu.ac.jp
門脇　浩明（准教授）	n26683h[at]omu.ac.jp
黒田　桂菜（准教授）	kuroda.kana[at]omu.ac.jp
竹中　規訓（教授）	takenaka-nor[at]omu.ac.jp
藤井　佑介（准教授）	fujii.yusuke[at]omu.ac.jp
星　英之（教授）	hhoshi[at]omu.ac.jp

＜社会科学系環境学＞

氏　　名	メールアドレス
住田　守道（准教授）	入試課にお問い合わせください
ソ　ヌリ（講師）	t25429n[at]omu.ac.jp
千葉　知世（准教授）	t.chiba[at]omu.ac.jp
天畠　華織（准教授）	tembata[at]omu.ac.jp
中島　清隆（准教授）	knakashi[at]omu.ac.jp
西川　弘展（准教授）	hiro-nishikawa[at]omu.ac.jp
野村　恭代（教授）	nomura[at]omu.ac.jp
花村　周寛（教授）	c-hanamura[at]omu.ac.jp
古川　朋雄（准教授）	tfurukawa[at]omu.ac.jp
吉川　丈（准教授）	t.yoshikawa[at]omu.ac.jp

【人間科学分野】

＜社会学・人文地理学・文化人類学＞

氏　　名	メールアドレス
上村　隆広（教授）	uemura.takahiro[at]omu.ac.jp
王（オウ）　文潔（ブンケツ）（講師）	wang[at]omu.ac.jp
工藤　宏司（准教授）	Koji_Kudo[at]omu.ac.jp
橋爪　太作（准教授）	d.hashizume[at]omu.ac.jp
福田　珠己（教授）	tamamif[at]omu.ac.jp
藤田　渡（教授）	watarufujita[at]omu.ac.jp
水野　真彦（教授）	mmizuno[at]omu.ac.jp

＜文化史・思想史＞

氏　　名	メールアドレス
池平　紀子（教授）	n.ikehira[at]omu.ac.jp
奥村　和子（教授）	okuk[at]omu.ac.jp
櫻井　俊郎（教授）	toshisakurai[at]omu.ac.jp
佐々木　博光（准教授）	hirosasaki[at]omu.ac.jp
山東　功（教授）	santo[at]omu.ac.jp
住友　陽文（教授）	sumitomo[at]omu.ac.jp
高垣　里衣（准教授）	rietakagaki[at]omu.ac.jp
西田　正宏（教授）	nymar[at]omu.ac.jp
前川　真行（教授）	maegawa[at]omu.ac.jp

＜人権・マイノリティ研究（思想、教育、歴史、現代社会）＞

氏　　名	メールアドレス
大久保　遥（講師）	harukao[at]omu.ac.jp
廣岡　浄進（教授）	hirooka[at]omu.ac.jp

＜ジェンダー研究・セクシュアリティ研究＞

氏　　名	メールアドレス
乾　順子（教授）	inui[at]omu.ac.jp
内藤　葉子（教授）	ynaito[at]omu.ac.jp
東　優子（教授）	higashi[at]omu.ac.jp

＜教育学、倫理学、哲学＞

氏　　名	メールアドレス
上柿　崇英（教授）	t-uegaki[at]omu.ac.jp
田村　徳子（准教授）	tamura.nor[at]omu.ac.jp
中山　博晶（講師）	nakayama.hiro[at]omu.ac.jp
森岡　次郎（教授）	j-moriok[at]omu.ac.jp
山本　由美子（教授）	yamamoto.yumiko[at]omu.ac.jp

＜言語学＞

氏　　名	メールアドレス
田中　美津子（教授）	mtanaka[at]omu.ac.jp
徳永　アン（教授）	annetokunaga[at]omu.ac.jp
中村　直子（准教授）	nkmr_na[at]omu.ac.jp
宮畑　一範（准教授）	kazm[at]omu.ac.jp
森田　耕平（准教授）	khmorita[at]omu.ac.jp
楊（ヤン）　眞淑（ジンスク）（准教授）	yang[at]omu.ac.jp

【社会福祉学分野】

氏　　名	メールアドレス
伊藤　嘉余子（教授）	itokayo[at]omu.ac.jp
岩本　華子（准教授）	iwamoto-h[at]omu.ac.jp
木曽　陽子（教授）	kiso[at]omu.ac.jp
嵯峨　嘉子（准教授）	y-saga[at]omu.ac.jp
全（ジョン）　泓奎（ホンギュ）（教授）	francisjeonhg[at]omu.ac.jp
田垣　正晋（教授）	tagaki[at]omu.ac.jp
濱島　淑恵（教授）	yhamashi[at]omu.ac.jp
東根　ちよ（准教授）	higashine[at]omu.ac.jp
本田　優子（講師）	y-honda[at]omu.ac.jp
松田　博幸（准教授）	matsuda[at]omu.ac.jp
三田　優子（准教授）	mita[at]omu.ac.jp
山中　徹二（准教授）	t-yamanaka[at]omu.ac.jp
吉田　直哉（准教授）	yoshidanaoya[at]omu.ac.jp
吉武　信二（教授）	shin[at]omu.ac.jp
吉原　雅昭（准教授）	masaakiyoshihara[at]omu.ac.jp

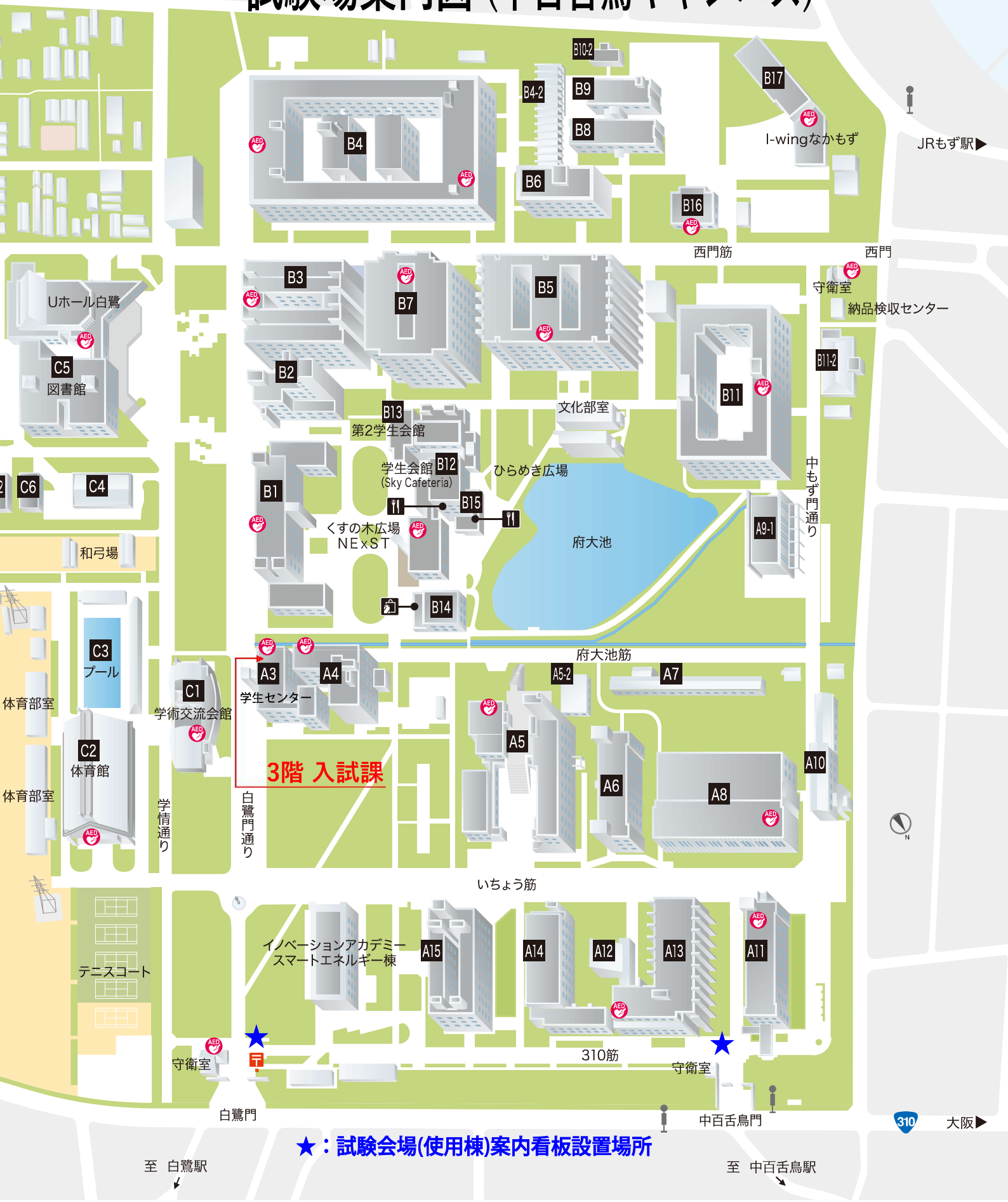
【臨床心理学分野】

氏　　名	メールアドレス
片畑　真由美（教授）	katahata[at]omu.ac.jp
川部　哲也（教授）	kawabet[at]omu.ac.jp
髙橋　幸治（教授）	koji[at]omu.ac.jp
長谷　雄太（講師）	nagatani[at]omu.ac.jp
樋口　亜瑞佐（准教授）	ahiguchi[at]omu.ac.jp

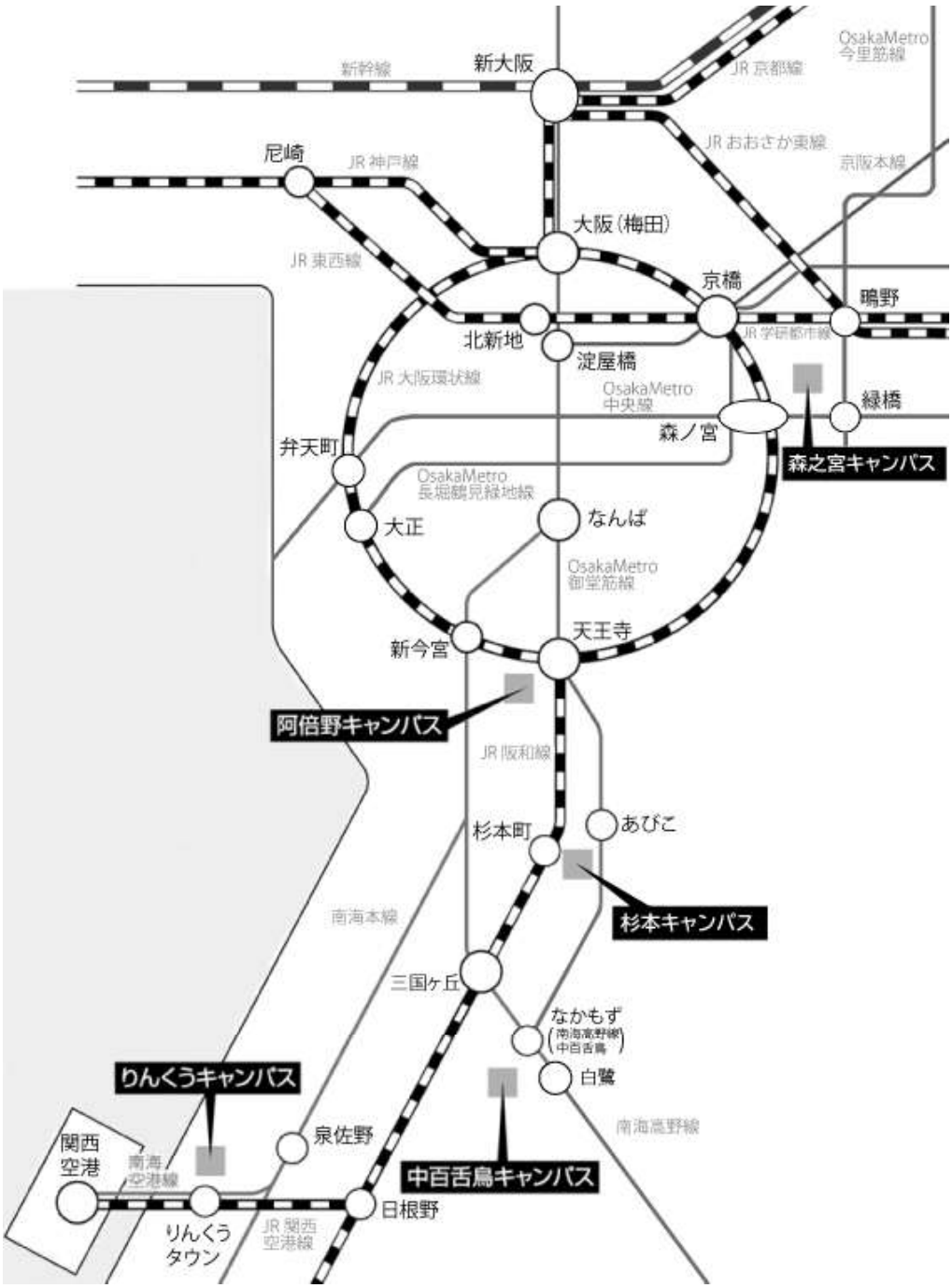
【認知行動科学分野】

氏　　名	メールアドレス
池田　文人（教授）	fumike[at]omu.ac.jp
岩佐　和典（准教授）	kaiwasa[at]omu.ac.jp
岡本　真彦（教授）	mokamoto[at]omu.ac.jp
河野　直子（准教授）	nkawano[at]omu.ac.jp
河村　悠太（准教授）	ykawamura[at]omu.ac.jp
飛田　国人（教授）	tobita[at]omu.ac.jp
野津　亮（教授）	notsu[at]omu.ac.jp
畑野　快（准教授）	kai.hatano[at]omu.ac.jp
牧岡　省吾（教授）	makioka[at]omu.ac.jp
武藤　拓之（准教授）	mutopsy[at]omu.ac.jp
吉村　晋平（准教授）	b25926b[at]omu.ac.jp

試験場案内図（中百舌鳥キャンパス）



交通アクセス



■中百舌鳥キャンパス

〒599-8531　大阪府堺市中区学園町１番１号

・南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ徒歩約７分
・南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南東へ徒歩約 13 分
・Osaka Metro 御堂筋線「なかもず駅」下車、５号出口から南東へ徒歩約 13 分